

NEC

P C 9 8 -

NX

活用ガイド

本機の機能

周辺機器を使う

システムの設定

アプリケーションの削除と追加

他のOSを利用する

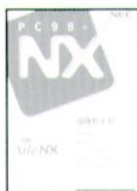
PC98-**NX** SERIES

Aile NX

AL20C/TS

マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



● 『活用ガイド』

このパソコンの取り扱い方法、添付されているアプリケーションについて説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について
- ・添付アプリケーションの削除と追加
- ・Windows NT 4.0を利用する場合の設定



● 『困ったときのQ&A』

さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明したマニュアルです。また、再セットアップの方法も説明しています。

- ・トラブル解決Q&A
- ・再セットアップするには

はじめに

このマニュアルは、パソコン本体の取り扱い方法や、添付されているアプリケーションについて説明するものです。

周辺機器やオプションを接続してパソコンを拡張する場合、パソコンの設定を変更する場合などに、このマニュアルをご利用ください。

1997年10月 初版

対象機種

AL20C/TS model AAF1(型番:PC-AL20CTSAAF1)

808-861644-074-A

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

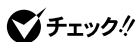
人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみの発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、毒物注意、破裂注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



チェック!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

本機 | AL20C/TS model AAF1

【 】 | 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」

「スタート」をクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
インターネット エクスプローラ 4.0	Microsoft® Internet Explorer 4.0 for Windows® 95 / Windows NT® 4.0

このマニュアルで使用している画面

このマニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。

対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークロゴは参加各国の間で統一されています。

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

電話回線:S97-3152-0

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリーパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーパックを取り付けている場合]

本装置バッテリーパック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準(JIS-C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-1NN、またはNEC/パソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておられません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NIFTY MANAGERは、ニフティ(株)の登録商標です。

PC-VANナビゲータ、BIGLOBE Walkerは、NECの商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLは、AOLジャパン株式会社の登録商標です。

McAfee、McAfee Associates、VirusScan、NetShieldは、米国McAfee Associates, Inc.の米国における登録商標です。

IntelliSync97は 米国プーマテクノロジー社の登録商標です。

MMX、Pentiumは Intel Corporationの登録商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPIは、Microcom, Inc.の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1997

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

本機の機能	1
各部の名称	2
バッテリーで本機を使う	5
バッテリーを充電する	5
バッテリーで本機を使うときの注意	5
バッテリー残量の確認	7
バッテリーパックの交換	8
電源に関する機能	10
サスペンド/レジューム機能	10
サスペンド/レジュームするときの注意	13
ハイパネーション機能	14
ハイパネーションするときの注意	17
省電力機能	20
表示ランプ	21
キーボード	23
キーボードを自分好みの設定にする	26
日本語入力の使い方	28
ポインティングデバイス	29
NXパッドの使い方	29
ポインティングデバイスを設定する	31
ファイルベースの取り付けと取り外し	32
ファイルベースを取り付ける	32
ファイルベースを取り外す	35
フロッピーディスクドライブ	37
フロッピーディスクのセットのし方と取り出し方	37
CD-ROMドライブ	39
内蔵ハードディスク	43
ハードディスクのメンテナンス	43
画面表示機能	45
表示できる解像度と表示色	45
解像度と表示色を変更する	46
セキュリティ機能	48
本機のセキュリティ機能	48

セキュリティ機能の使用例	49
パスワードを設定しているときの電源の入れ方	50
パスワードを設定しているときのレジューム	50
赤外線通信機能	52
赤外線通信をする	52
赤外線通信機能を使えるようにする	52
機器の配置について	53
サウンド機能の設定	55
内蔵モデム	56
電話回線との接続	56
ダイヤル設定方法	58
本機からファックスする	59
周辺機器を使う	61
周辺機器を利用する	62
ポートバーの取り付け方	62
ポートバーの外し方	64
周辺機器を利用するために知っておきたいこと	65
プリンタを使う	67
プリンタの接続	67
プリンタの設定	68
外部ディスプレイを使う	71
CRTディスプレイを接続する	71
プロジェクタを接続する	72
外部ディスプレイの設定	73
PCカードを使う	75
PCカードのセットのし方と取り出し方	76
PCカードの設定	79
メモリー(RAM)の増設	80
本機に使用できる増設RAMボード	80
増設RAMボードの取り付けと取り外し	80
その他の機器を使う	85
シリアルコネクタ	85
パラレルコネクタ	85
USBコネクタ	85

PART

3

テンキーボード用コネクタ	86
マウス用コネクタ	87

システムの設定

BIOSセットアップユーティリティ	90
BIOSセットアップユーティリティで設定できること	90
BIOSセットアップユーティリティを使う	91
設定項目一覧	92

PART

4

添付アプリケーションの削除と追加

添付アプリケーションの紹介	102
このPARTの構成について	103
アプリケーションの削除と追加	104
削除について	104
追加について	105
インターネットエクスプローラ4.0	107
インターネットエクスプローラ関連プログラム	112
Microsoft Chat 2.0	112
Microsoft NetShow プレーヤー	112
RealPlayer 4.0	113
BIGLOBE Walker	114
PC-VANナビゲータ	116
AOL	118
NIFTY MANAGER	120
VirusScan	123
TELFAX-NX	128
IntelliSync97	130
ローカルシステムの設定	130
接続設定	131
操作方法	133
プレーヤー-NX	136
CyberTrio-NX	138
CyberWarner-NX	141
ログファイルについて	141
英語モードフォントを利用する	145

他のOSを使う	147
Windows NT 4.0を使う	148
1. Windows NT 4.0のセットアップ	149
2. 内蔵アクセラレータの利用	151
3. 内蔵サウンドの利用	151
4. NXパッドの拡張	152
5. 内蔵FAXモデムのセットアップ	154
6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ	155
7. Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3」の利用	156

付録	157
Windows 95でMS-DOSモードを利用する	158
MS-DOSモードを利用する	158
CD-ROMドライバ(本機内蔵CD-ROM)	159
新しいMS-DOS設定を指定する場合	161
パソコンのお手入れ	164
準備するもの	164
パソコンのお手入れをはじめる前に	164
パソコンのお手入れ方法	165
コンピュータウイルス対策	166
機能一覧	169
本体機能仕様	169
ファイルベース機能仕様	171
内蔵FAXモデム機能仕様	172
割り込みレベル・DMAチャンネル	175
FAXの送受信テスト	176
テストの準備をする	176
テストを開始する	177
送信を確認する	177
返信のFAXを受信する	178
受信を確認する	178
テストがうまくいかないとき	178
索引	181

本機の機能

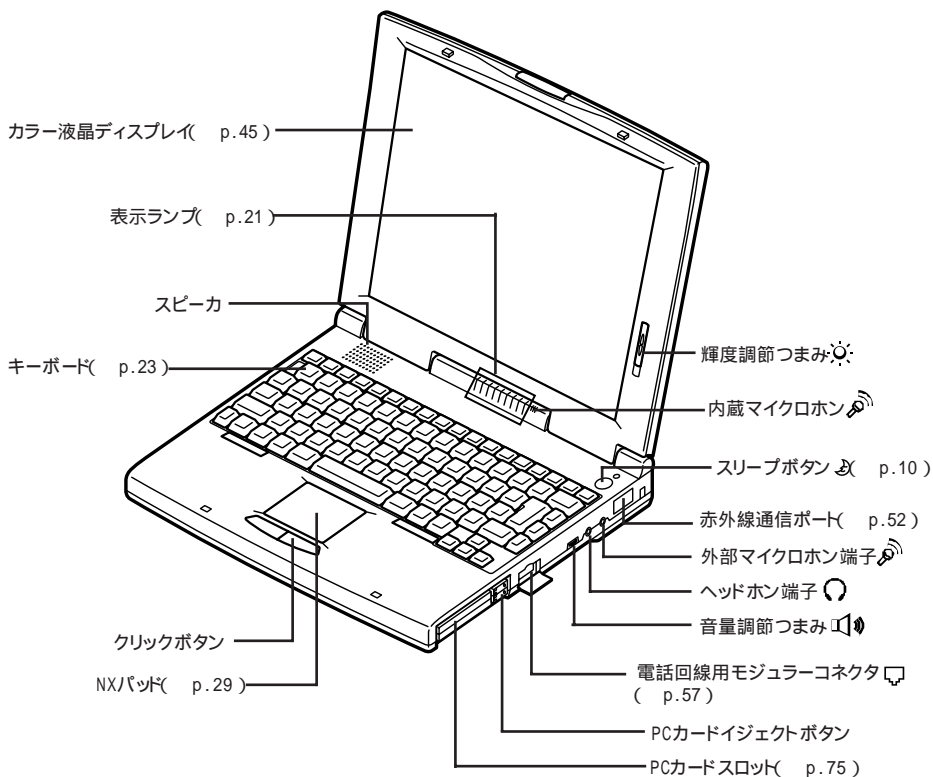
本機の各部の名称といろいろな機能について説明しています。

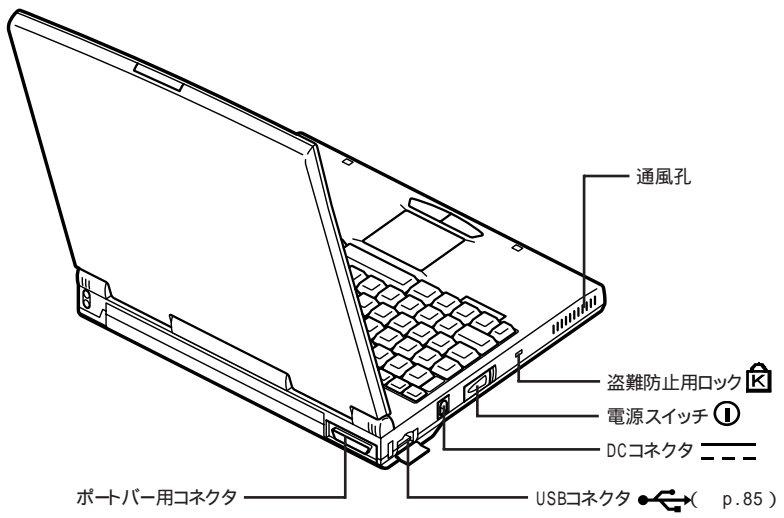
このPARTの内容



各部の名称
バッテリーで本機を使う
電源に関する機能
表示ランプ
キーボード
ポインティングデバイス
ファイルベースの取り付けと取り外し
フロッピーディスクドライブ
CD-ROMドライブ
内蔵ハードディスク
画面表示機能
セキュリティ機能
赤外線通信機能
サウンド機能の設定
内蔵モデム

各部の名称

本機の各部の名称と配置について説明しています。それぞれの機能や取り扱い方については、名称に付いているページをご覧ください。



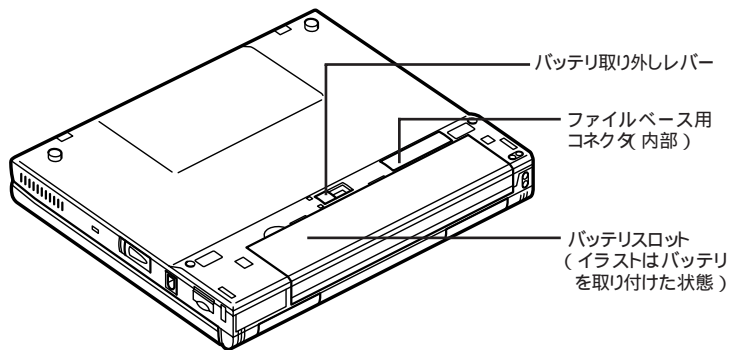


 **用語**  盗難防止用ロック

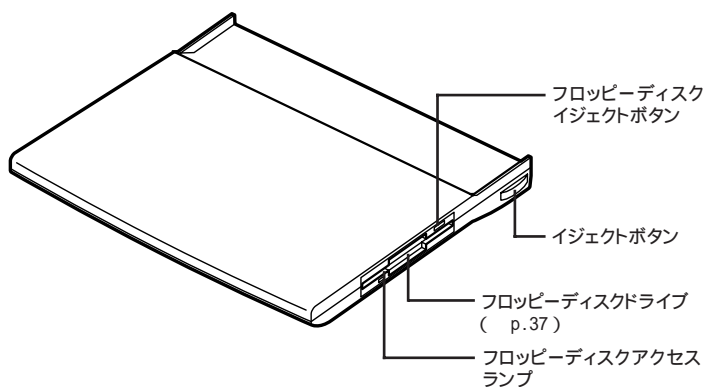
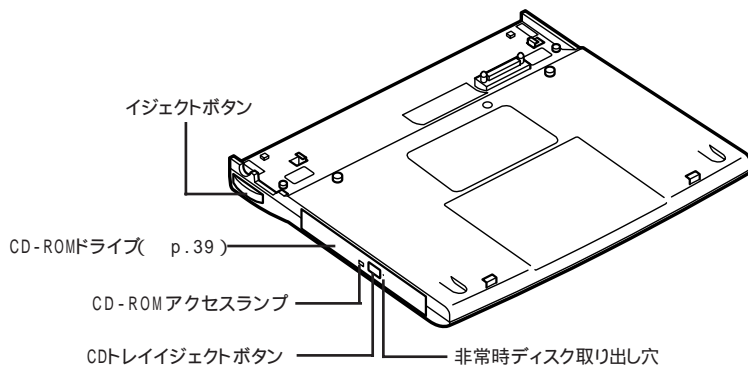
本機の盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

日本国内総販売代理店の連絡先は、次のとおりです(1997年10月現在)

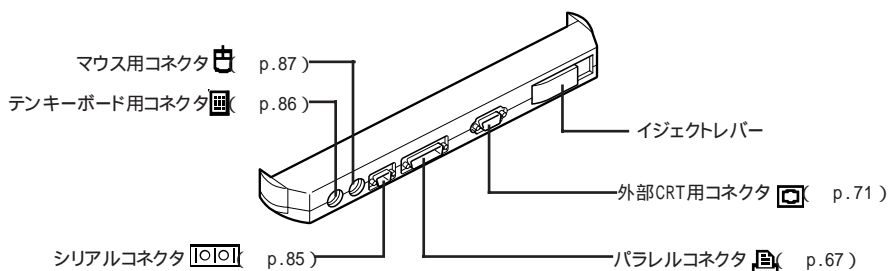
日本ポラロイド株式会社 電子映像事業部
〒105 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル
Tel: 03-3438-8879 Fax: 03-5473-1630



ファイルベース



ポートバー



バッテリーで本機を使う

本機は、ACアダプタを使用せずに、バッテリーだけで駆動することができます。

バッテリーを充電する

- ✓チェック!!** ・バッテリーの充電中は、バッテリーパックを本機から取り外さないでください。ショートや接触不良の原因になります。

バッテリーの充電のしかた

本機にバッテリーパックを取り付けて、ACアダプタで本機をACコンセントに接続すると、バッテリーが自動的に充電されます。

本機の電源を入れて使用していても充電されますが、電源を切った状態の方が充電時間は短くなります。

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。18～28℃での充電をおすすめします。

参照 ▶ バッテリーの充電時間について 「PART6 付録」の「機能一覧 (p.170)」

充電の状態は表示ランプで確認できます

- ・ バッテリー充電中
バッテリー充電ランプがオレンジ色に点灯
- ・ バッテリー充電が完了すると
バッテリー充電ランプが消灯

バッテリーで本機を使うときの注意

- ✓チェック!!** ・バッテリーが十分に充電されているときは、特に必要でないかぎり、バッテリーパックの取り付け / 取り外しをしないでください。故障の原因となります。
- ・ フロッピーディスクやハードディスクの読み書き中にバッテリー残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、フロッピーディスクやハードディスクのデータが壊れることがあります。

バッテリーを長持ちさせるには

次のような点に気を付けると、バッテリーを長持ちさせることができます。

- ・バッテリーの残量がなくなってから充電する
- ・充電はフル充電(充電表示ランプが消灯)になるまで中断しない
- ・本機を1ヵ月以上使わないときは、バッテリーパックを取り外して、涼しいところに保管する

バッテリーの上手な使い方

- ・バッテリーだけで本機を長時間使用する場合は、本機の省電力機能を使用してください。

参照▶ 省電力機能について 「電源に関する機能」(p.19)

- ・バッテリーは、自然放電しています。本機を長期間使用しない場合でも、2~3カ月に一度は充電することをおすすめします。

バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなったときの対処

バッテリーの残量が少なくなると、電源ランプがオレンジ色に点灯します。この場合は、次の操作を行ってください。

- ・ACコンセントから電源を供給する
いったん本機の電源を切り、ACアダプタを接続してACコンセントから電源を供給してください。ACコンセントから電源を供給すると、バッテリー充電ランプが点灯し、バッテリーの充電が始まります。
- ・ACコンセントが使えない場合
使用中のソフトウェアを終了して、本機の電源を切ってください。


上記の操作をしないで、そのままにしておくと、自動的にハイパネーション機能(p.14)が作動し、作業内容がハードディスクに保存され、電源が切れます。

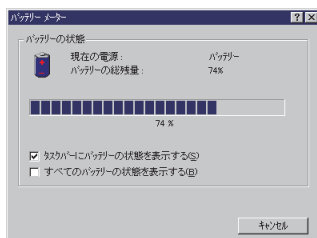
バッテリー残量の確認

バッテリー残量は、次の3つの方法で確認することができます。

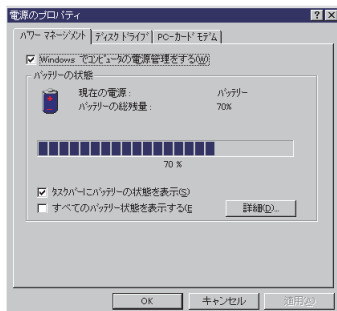
- ・ Windowsのタスクバーにある  の上にマウスポインタを合わせる





- ・ タスクバーの  をダブルクリックして、表示された「バッテリーメーター」ウィンドウを見る



- ・ 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」 「パワー・マネージメント」で表示される「電源のプロパティ」を見る



ACコンセントから電源を供給しているときは、 は  に変わります。Windowsの「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」 「パワー・マネージメント」で「Windowsでコンピュータの電源管理をする」を にすると、バッテリー残量は表示されません。

バッテリーパックの交換

交換の目安

バッテリーをフル充電しても使用できる時間が短くなったら、新しいバッテリーパックを購入して交換してください。

本機に取り付けられる交換用のバッテリーパックは、次のとおりです。
型番:PC-VP-TP02

バッテリーパックの交換のしかた

⚠警告



感電注意

雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



破裂注意

使用を終えたバッテリーパックを、分解したり火気に投げたりすることは危険です。絶対にしないでください。

破裂したり、液漏れしたりすることがあります。



毒物注意

⚠注意



感電注意

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

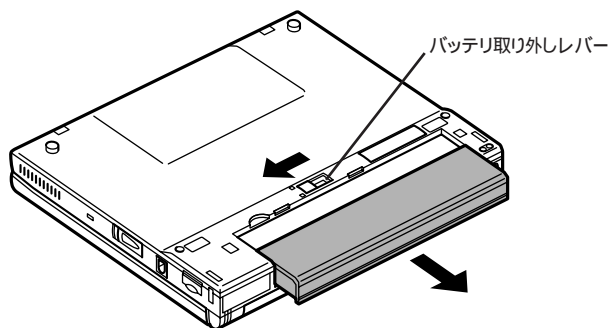


チェック!!

・バッテリースロットの端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因となります。

・サスペンド状態のときにバッテリーパックを交換すると、保存中のデータが失われます。サスペンドランプが点灯しているときには、一度レジュームしてデータを保存してからWindowsを終了し、本機の電源を切ってください。

- 1 本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 本機からケーブル類、ポートバー、ファイルベースをすべて取り外す
- 4 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す
- 5 バッテリー取り外しレバーを図の矢印の方向にスライドさせ、バッテリーパックを取り外す



- 6 新しいバッテリーパックを、端子の位置に注意して取り付ける

チェック!! 不要になったバッテリーパックは、地方自治体の条例に従って廃棄してください。

電源に関する機能

本機には、電源に関する便利な機能があります。バッテリー駆動時に設定しておく、駆動時間を長くできるなど、省電力の機能として使うことができます。

電源に関する機能には、次の3つがあります。

- ・ サスペンド / レジューム 機能
- ・ ハイバネーション機能
- ・ 省電力機能

サスペンド / レジューム機能

サスペンド

サスペンド (Suspend) とは「活動などを一時停止する」の意味で、実行中の作業内容をメモリ (RAM) に保存し、そのデータを保持するための微小な電流以外は消費されていない省電力状態にすることをいいます。

レジューム


レジューム (Resume) とは「中断した後に仕事などを再び始める」の意味で、サスペンド状態からサスペンドする前の状態に戻すことをいいます。Windowsが起動するまでの時間をかけずに、サスペンドしたときの作業画面から再開するため、待ち時間なしに素早く作業を再開できます。

サスペンド / レジュームするには、次のような方法があります。

- ・ スリープボタンを使う
- ・ Windowsのスタートメニューを使う
- ・ 液晶ディスプレイの開閉に連動して行う
- ・ 自動的にサスペンド / レジュームする (自動スリープ制御)
- ・ 電話やFAXの呼び出しでレジュームする



チェック!!

サスペンド状態にしてから、すぐに元の状態に戻す (レジュームする) ときは、本機に負担がかかることを避けるため、サスペンドランプ  が点灯してから少なくとも5秒以上待ってから実行してください。


スリープボタンを使う

サスペンドするには

スリープボタンを押す

レジュームするには

サスペンド状態のときに、もう一度スリープボタンを押すか、または電源スイッチをスライドする

-  **チェック!!** ・スリープボタンを押しながら電源スイッチをスライドすると、サスペンド状態にはならず、電源が切れます。この場合、データは消えてしまいますので注意してください。
- ・BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「スリープボタン」を「使用しない」に設定した場合は、スリープボタンを使ってサスペンド/レジュームすることはできません(p.98)

Windowsのスタートメニューを使う

サスペンドするには

「スタート」「サスペンド」をクリックする

レジュームするには

サスペンド状態のときに、スリープボタンを押すか、または電源スイッチをスライドする

「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「電源のプロパティ」「パワーマネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を にすると、この方法ではサスペンドできません。また、「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「詳細」で、「スタートメニューのサスペンドコマンドの表示」を にすると、スタートメニュー内に「サスペンド」が表示されません。

液晶ディスプレイの開閉に連動して行う


あらかじめ、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「LCD連動スリープ」を「使用する」に設定します。

サスペンドするには

液晶ディスプレイを閉じる

レジュームするには

液晶ディスプレイを開ける

 **チェック!!** 液晶ディスプレイの開閉でサスペンド/レジュームをするように設定した場合は、Windowsの終了処理中に液晶ディスプレイを閉じないでください。

自動的にサスペンド/レジュームする(自動スリープ制御)

あらかじめ、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「パワーマネージメント」で「自動スリープ制御」を「使用する」に設定し、「自動スリープ開始時間」でサスペンドするまでの時間を設定します(p.97)

サスペンドするには

設定した時間内に、ポインティングデバイスやキーボードからの入力が行われないと、自動的にサスペンド状態になる

レジュームするには

サスペンド状態のときに、スリープボタンを押すか、または電源スイッチをスライドする

■ 設定できる時間は5、10、15、20、25、30分のみです。

自動スリープ制御を使うときは、次の手順で、「CD-ROM自動挿入」の機能を にしてください。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」アイコンの前の をクリックする
- 3 表示されたCD-ROM名をクリックしてから「プロパティ」ボタンをクリックする
- 4 「設定」タブをクリックし、「自動挿入」をクリックして にする
- 5 「OK」ボタンをクリックする

電話やFAXでレジュームする

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「レジューム」で「モデム受信でレジュームする」を「使用する」に設定します。

レジュームするには

電話やFAXの呼び出しで自動的にレジュームする

サスペンド/レジュームするときの注意

次のようなときはサスペンドしないでください。

- ・プリンタへ出力中
- ・赤外線通信をしているとき（赤外線通信用ソフトを実行中）
- ・音声または動画を再生中
- ・ハードディスク、フロッピーディスクにアクセス中
- ・CD-ROMドライブにアクセス中
- ・電話回線を使って通信中
- ・通信用アプリケーションを実行中
- ・Windows95の終了処理中
- ・サスペンド機能に対応していないアプリケーションソフトの使用
- ・サスペンド機能に対応していないPCカードの使用

サスペンド処理中の注意

サスペンド処理中とは、サスペンド機能を実行してから本機がサスペンド状態に入るまでの間のことです。

この間はフロッピーディスクやPCカード、CD-ROMの入れ替えなどはしないでください。サスペンド処理中にこのような本機の環境の変更を行うと、サスペンドしたデータが消えてしまいます。

サスペンド状態のときの注意

- ・サスペンド状態のとき、PCカードの入れ替えなど、本機の機器構成を変更すると、レジュームできなくなることがあります。
- ・ACアダプタが未接続で、バッテリーが消耗したときは、サスペンドしたデータが消失します。

レジューム処理中の注意

レジューム処理中とは、レジュームを始めてから作業が再開できるようになるまでの間のことです。

この間はフロッピーディスクやPCカード、CD-ROMの入れ替えなどは行わないでください。レジューム処理中にこのような本機の環境の変更を行うと、レジュームできなくなることがあります。

CD-ROMドライブにフォトCDを入れたままサスペンドすると、レジュームに若干時間がかかることがあります。

ハイバネーション機能

用語 ハイバネーション

ハイバネーション (Hibernation)とは「冬眠」の意味で、電源を切ると同時に、実行中の作業内容を自動的にハードディスクに保存する機能です。サスペンドと異なり、電力は一切消費されませんので、バッテリーが消耗してもデータの消失の心配はありません。

ハイバネーション機能を使うには次のような方法があります。

- ・【Fn】を押したままスリープボタンを押す
- ・スリープボタンを押す
- ・Windowsのスタートメニューを使う
- ・液晶ディスプレイの開閉を連動して行う
- ・自動的にハイバネーションする(自動スリープ制御)
- ・電話やFAXの呼び出しでハイバネーション前の状態に戻す

チェック!!

- ・電源を連続して入れたり切ったりすると、本機に負担がかかります。電源を切ってから入れるまでは、電源ランプが消灯してから少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。
- ・Windowsの「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「電源のプロパティ」「パワーマネージメント」で「Windowsでコンピュータの電源を管理する」をオフ に設定している場合は、ハイバネーションは機能しません。
- ・スリープボタンを押しながら電源スイッチをスライドすると、ハイバネーション状態にはなりません。この場合、データは消えてしまいますので注意してください。

【Fn】を押したままスリープボタンを使う

ハイバネーションするには

【Fn】を押したままスリープボタンを押す

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチをスライドさせる

スリープボタンを使う


この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定します(p.98)

ハイバネーションするには

スリープボタンを押す

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチをスライドさせる

 **チェック!!** ハイバネーション機能は、本機にインストールされているWindows 95でのみ使用できます。市販のWindows 95では使用できません。

Windowsのスタートメニューを使う

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定します(p.98)

ハイバネーションするには

「スタート」「サスペンド」をクリックする

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチをスライドする

「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「電源のプロパティ」「パワーマネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を に設定すると、この方法ではハイバネーションできません。また、「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「詳細」で、「スタートメニューのサスペンドコマンドの表示」を にすると、スタートメニュー内に「サスペンド」が表示されません。

液晶ディスプレイの開閉に連動して行う


この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定します(p.98)。また、「省電力」の「スリープ」で「LCD連動スリープ」を「使用する」に設定します。

ハイバネーションするには

液晶ディスプレイを閉じる

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチをスライドさせる

 **チェック!!** 液晶ディスプレイの開閉でハイバネーションをするに設定した場合は、Windowsの終了処理中に液晶ディスプレイを閉じないでください。

自動的にハイバネーションする(自動スリープ制御)

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイバネーション」に設定します(p.98)。また、「省電力」の「パワーマネジメント」で「自動スリープ制御」を「使用する」に設定し、「自動スリープ開始時間」でハイバネーションにするまでの時間を設定します(p.97)。

ハイバネーションするには

設定した時間内にポインティングデバイスやキーボードからの入力を行わないと、自動的にハイバネーション状態になる

ハイバネーション前の状態に戻すには

電源スイッチをスライドさせる

設定できる時間は5、10、15、20、25、30分のみです。

自動スリープ制御を使うときは、次の手順で「CD-ROM自動挿入」の機能を に設定してください。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロール」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」アイコンの前の をクリックする

- 3 表示されたCD-ROM名をクリックしてから「プロパティ」ボタンをクリックする
- 4 「設定」タブをクリックし、「自動挿入」をクリックして□にする
- 5 「OK」ボタンをクリックする

電話やFAXでハイパネーション前の状態に戻す

この機能を使うには、BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」で「モード設定」を「ハイパネーション」に設定します(p.98)また、「省電力」の「レジューム」で「モデム受信でレジューム」を「使用する」に設定します(p.98)

ハイパネーション前の状態に戻すには

電話やFAXの呼び出しで自動的にハイパネーション前の状態に戻る

ハイパネーションするときの注意

次のようなときは、ハイパネーションしないでください

- ・ プリンタへ出力中
- ・ 赤外線通信をしているとき(赤外線通信用ソフトを実行中)
- ・ 音声または動画を再生中
- ・ ハードディスク、フロッピーディスクにアクセス中
- ・ CD-ROMドライブにアクセス中
- ・ 電話回線を使って通信中
- ・ 通信用ソフトを実行中
- ・ ハイパネーション機能に対応していないアプリケーションソフトを使用中
- ・ ハイパネーション機能に対応していないPCカードを使用中

ハイバネーション処理中の注意

ハイバネーション処理中とは、電源スイッチをスライドさせてからハイバネーション状態に入るまでの間のことです。

この間はフロッピーディスクやPCカード、CD-ROMの入れ替えなどは行わないでください。レジューム処理中にこのような本機の環境の変更を行うと、ハイバネーションできなくなることがあります。

ハイバネーション状態のときの注意

ハイバネーション状態で本機の機器構成を変更すると、データを復元できなくなることがあります。

データ復元中の注意

データの復元中は、フロッピーディスクやPCカード、CD-ROMの入れ替えなど、本機の環境を変更しないでください。データを復元できなくなります。

メモリを取り付けたり取り外したりしたときには次の設定が必要です

メモリを取り付けたり取り外したりしたときや、ハードディスクからハイバネーション用の一時待避ファイルを削除したときは、ハイバネーション設定ユーティリティでの設定が必要です。

✓チェック!! この操作は、MS-DOSモードで行います。Windows 95の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは行えません。必ず次の手順で操作してください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「MS-DOSモードでコンピュータを再起動する」を選び、「はい」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 2 MS-DOSモードで再起動したら、キーボードでHIBERON【Enter】と入力する

✓チェック!! ハードディスクの空き容量が不足しているというメッセージが表示された場合は、不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き容量を確保した後、手順1からやり直してください。必要なハードディスクの空き容量の目安は、本機に搭載されているメモリ容量 + 4Mバイトです。

3 次のようなメッセージが表示されたら、本機の電源を切り、5秒以上待ってから再度本機の電源を入れる

本機の起動時に、次のようなメッセージが表示されなくなれば、ハイバネーション機能が使用できます。

ハイバネーション用ファイルを作成しました。
電源を切って5秒以上待ってから再び電源を入れてください。

ハイバネーション機能を使用しないに設定する

「ハイバネーション設定ユーティリティ」を使用して設定を解除します。このユーティリティでは、ハードディスク内に作成されているハイバネーションのためのファイルを削除します。

チェック!! 「ハイバネーション設定ユーティリティ」は、MS-DOSモードで起動します。Windows 95の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは実行することはできません。必ず次の手順で操作してください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「MS-DOSモードでコンピュータを再起動する」を選び、「はい」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 2 MS-DOSモードで再起動したら、HIBEROFF【Enter】と入力する
- 3 次のようなメッセージが表示されたら、本機の電源を切って、5秒以上待ってから再度電源を入れる

ハイバネーション用ファイルを削除しました。
電源を切って5秒以上たってから再び電源を入れてください。

すでにハイバネーション用ファイルが削除されている状態で「ハイバネーション設定ユーティリティ」を実行すると、「ハイバネーション用ファイルは存在しません。」と表示されます。

省電力機能

本機では、ご購入時にあらかじめ次のような省電力機能が設定されています(バッテリ駆動時)

キーボードやポインティングデバイスからの入力が無くなったからの時間	機能
15秒	液晶ディスプレイの明るさが暗くなる
2分	液晶ディスプレイの表示用電源が切れる
4分	スタンバイモードになる (液晶ディスプレイの表示用電源が切れるほか、 内部的な消費電力が節電状態になる)
10分	サスペンド状態になる

スタンバイモードやサスペンド状態のときには、サスペンドランプが緑色に点灯します。電源ランプは、スタンバイモードのときには点灯、サスペンド状態のときには消灯しています。

これ以外にもハードディスクやオーディオなどに関するいろいろな省電力機能が設定されています。

詳しくは、Part3をご覧ください。

また、本機で省電力機能の設定を行うには、次のような方法があります。

(1) BIOSセットアップユーティリティで設定する

「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「BIOSセットアップユーティリティ」でBIOSセットアップユーティリティを起動し、「省電力」の項目で設定します。

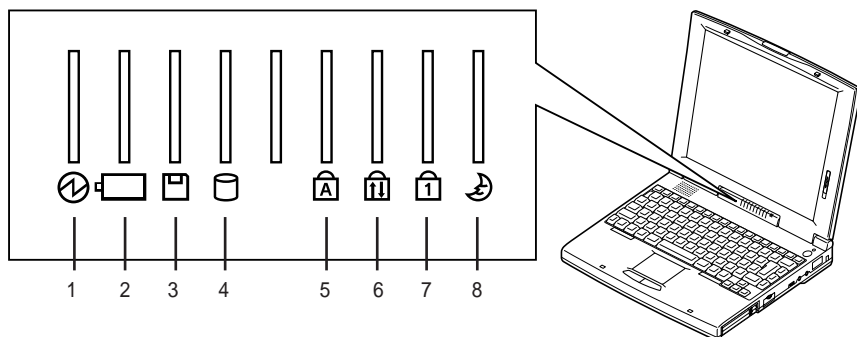
ここでの設定は、WindowsとMS-DOSモードの両方で有効です。
詳しくは、Part3をご覧ください。





(2) Windowsのコントロールパネルで設定する

「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」の「画面」や「パワーマネージメント」でディスプレイやハードディスクの省電力機能を設定できます。

ここでの設定は、Windowsでのみ有効です。

表示ランプ



1. 電源ランプ 
 - ・ 緑 電源が入っている
 - ・ オレンジ バッテリー容量が少ない
 - ・ 消灯 電源が切れているかサスペンド状態
2. バッテリー充電ランプ 
 - ・ オレンジ点灯 . バッテリー充電中
 - ・ 消灯 バッテリー充電完了
3. フロッピーディスクアクセスランプ 
 - ・ 緑 アクセス中
 - ・ 消灯 アクセスしていない
4. ハードディスクアクセスランプ 
 - ・ 緑 アクセス中
 - ・ 消灯 アクセスしていない

5. キャップスロックキーランプ

- ・ 緑【CapsLock】がロックされている
英字を入力すると大文字になります。
- ・ 消灯【CapsLock】がロックされていない
英字を入力すると小文字になります。

6. スクロールロックランプ

- ・ 緑【ScrLock】がロックされている
【ScrLock】はアプリケーションによって使い方が異なります。
- ・ 消灯【ScrLock】がロックされていない

7. ニューメリックロックキーランプ

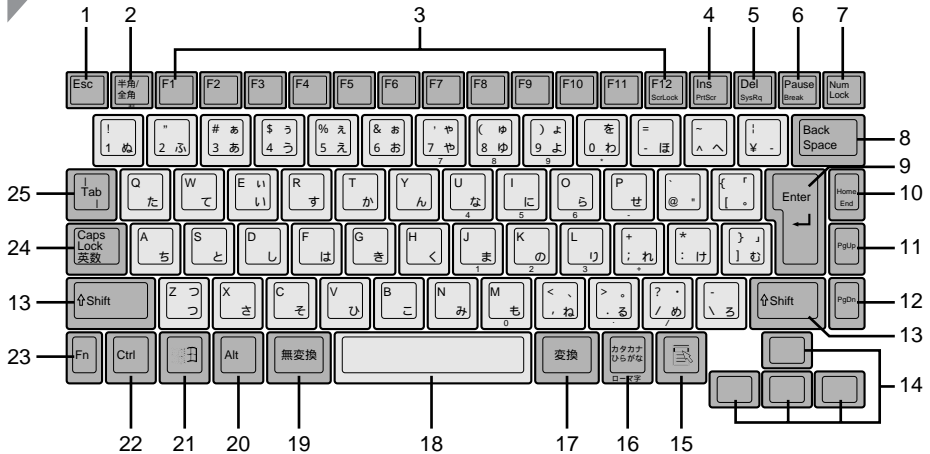
- ・ 緑【NumLock】がロックされている
キーを押すとキー前面の文字が入力されます。
- ・ 消灯【NumLock】がロックされていない
キーを押すとキー上面の文字が入力されます。

8. サスペンドランプ

- ・ 緑 サスペンド状態またはスタンバイモード
- ・ 消灯 サスペンド状態、スタンバイモードではない

キーボード

キーの名称



- 1. 【Esc】: エスケープキー
- 2. 【半角/全角】: 半角/全角キー
- 3. 【F1】~【F12】: ファンクションキー
- 4. 【Ins】: インサートキー
- 5. 【Del】: デリートキー
- 6. 【Pause】: ポーズキー
- 7. 【Num Lock】: ニューメリックロックキー
- 8. 【Back Space】: バックスペースキー
- 9. 【Enter】: エンターキー(リターンキー)
- 10. 【Home】: ホームキー
- 11. 【PgUp】: ページアップキー
- 12. 【PgDn】: ページダウンキー
- 13. 【Shift】: シフトキー
- 14. 【 ⏪ ⏩ ⏴ ⏵ 】: カーソル移動キー
- 15. 【🖱️】: アプリケーションキー
Windows 95使用時に使うことができます。
- 16. 【カタカナ ひらがな】: かなキー
- 17. 【変換】: 変換キー
- 18. スペースキー
- 19. 【無変換】: 無変換キー
- 20. 【Alt】: オルトキー
- 21. 【🪟】: Windowsキー
Windows 95使用時に使うことができます。
- 22. 【Ctrl】: コントロールキー
- 23. 【Fn】: エフエヌキー
- 24. 【Caps Lock】: キャップスロックキー
- 25. 【Tab】: タブキー

特殊なキーの使い方







キー操作	説明
【Num Lock】	一度押すとニューメリックロックキーランプが点灯し、キー前面に青で表示されている数字や記号を入力できるようになります。 もう一度押すとニューメリックロックキーランプが消灯し、キー上面の文字が入力できるようになります。
【Shift】+【Caps Lock】	一度押すとキャップスロックキーランプが点灯し、ローマ字を入力すると大文字が入力されます。もう一度押すとキャップスロックキーランプが消灯し、ローマ字を入力すると小文字が入力されます。
【Alt】+【半角 / 全角】	一度押すと日本語入力システムがオンになり、日本語が入力できるようになります。 もう一度押すと日本語入力システムがオフになり、日本語が入力できなくなります。
【Alt】+【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すとかな入力モードになり、キー上面のかな文字で日本語を入力できるようになります。もう一度押すとローマ字入力モードになり、キー上面のローマ字の組み合わせで日本語を入力できるようになります。
【Caps Lock】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すと英数字が入力されるようになります。
【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっていて英数字が入力されるモードになっているとき、一度押すとひらがなやカタカナを入力できるようになります。
【Fn】	他のキーと組み合わせて機能を実行します。(p.25)

ホットキー機能【Fn】の使い方

【Fn】と他のキーを組み合わせて押すことで、本機の設定を簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。

組み合わせが可能なキーとその機能は【Fn】と同じ色（ブルー）でキー上面に印字されています。

ホットキー機能一覧

機能	キー操作	説明
ハイパネーション	【Fn】+スリープボタン	ハイパネーション状態にします。
ディスプレイ切り替え 	【Fn】+【F3】	別売のCRTディスプレイが接続されているとき、キーを押すごとに、内蔵液晶ディスプレイ 外部モニター 両方表示と切り替わります。
液晶バックライトの調節 	【Fn】+【F5】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイのバックライトの明るさが増減します。
ビープ音量調節 	【Fn】+【F6】	ビープ音の音量を調節します。キーを押すごとに、なし 小 中大で音量が変わります。
節電レベル選択 	【Fn】+【F7】	パワーマネジメントレベルを変更して、望みの節電レベルを選択します。選んだ内容がタスクバーにアイコンで表示されます。
スクロールロック	【Fn】+【F12】	【Scr Lock】の役割
プリントスクリーン	【Fn】+【Ins】	【Prt Scr】の役割
システムリクエスト	【Fn】+【Del】	【Sys Req】の役割
右Alt	【Fn】+【Alt】	右【Alt】の役割
右コントロールキー	【Fn】+【Ctrl】	右【Ctrl】の役割
右Windows	【Fn】+ 	右 
Break	【Fn】+【Pause】	【Break】の役割
End Key	【Fn】+【Home】	【End】の役割

キーボードを自分好みの設定にする

1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開く

2 「キーボード」アイコンをクリックする
「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでは、ウィンドウ左上の各タブで、次のような設定が行えます。

- ・文字入力時の繰り返し入力のタイミング調節
- ・カーソルの点滅速度の調節
- ・日本語入力システムの選択
- ・レイアウトの設定

「速度」タブでの設定

表示までの待ち時間

一つのキーを押し続けたときに、入力の繰り返しが始まるまでの時間を調節します。

表示の間隔

一つのキーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返される間隔を調節します。

カーソルの点滅速度

カーソルの点滅する間隔を調節します。

「言語」タブでの設定

言語

よく使う日本語入力システムを一覧から選択（反転表示して、「標準に設定」をクリックすると、その日本語入力システムが「標準の言語」欄に表示され、登録されます。

追加

「追加」ボタンをクリックして「言語の追加」ウインドウを表示させ、▼をクリックして、追加したい言語を選択します。

プロパティ

日本語入力システムを一覧から選択（反転表示）して、「プロパティ」ボタンをクリックすると、環境設定のためのウインドウが表示されます。ローマ字 / かな入力、入力モード / 方式、句読点の種類などを設定できます。

削除

削除したい言語を一覧から選択（反転表示）して、「削除」ボタンをクリックすると、その言語が一覧から削除されます。

言語の切り替え

言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選択します。

タスクバー上に状態を表示

「タスクバー上に状態を表示」をクリックしてにすると、日本語や日本語入力システムを簡単に切り替えることができるメニューが、タスクバーに表示されます。

「情報」タブでの設定

キーボードの種類

現在使用しているキーボードの種類が表示されます。本機以外の別売のキーボードを使用する場合の設定も行うことができます。

別売のキーボードを使うには

本機では、別売のテンキーボードやキーボードを接続して使うことができます。テンキーボードは、本機背面のテンキーボード用コネクタに接続します。キーボードは、USB対応キーボードを本機のUSBコネクタに接続することができます。


参照▶ 別売のテンキーボードやキーボードの接続について 「その他の機器を使う」(p.86)

日本語入力の使い方


本機には日本語入力システムとして、MS-IME97が組み込まれています。
入力方法や操作方法については「ヘルプ」をご覧ください。

日本語入力のオン、オフのし方


オンのし方

- 1 タスクバーの右にあるをクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オン」をクリックする
これで日本語入力がオンになりました。

オフのし方

- 1 タスクバーの右にあるをクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オフ」をクリックする
これで日本語入力がオフになりました。

MS-IME97の「ヘルプ」を見るには

- 1 MS-IME97のツールバーから「ヘルプ」ボタンをクリックする
- 2 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
- 3 「ヘルプ」を終了したいときはをクリックする

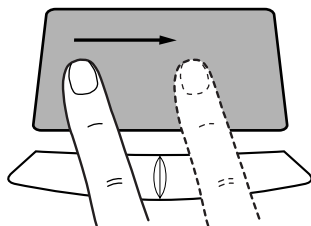
ポインティングデバイス

本機には、マウスの代わりとなる入力装置として、NXパッドが組み込まれています。

NXパッドの使い方

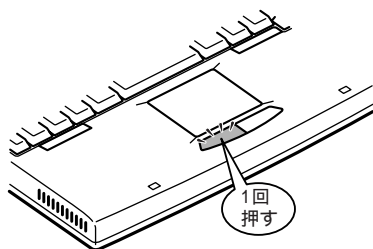
ポインタ (カーソル) の移動

パッドに軽く指を置いて動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上のポインタ (カーソル) が動きます。



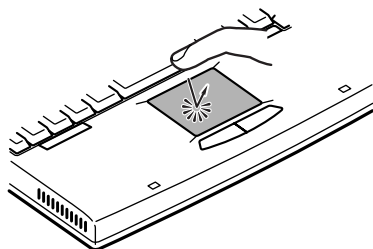
クリック

左または右のクリックボタンを指で押します。マウスの左または右ボタンを押すのと同じ役割です。



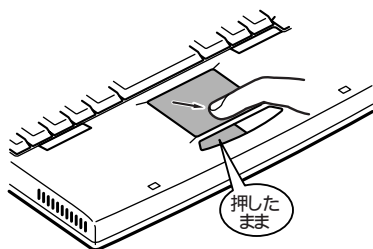
タップ

左クリックボタンを押す代わりに、指先でパッドを軽くたたいてクリックする方法をタップといいます。1回たたくことをタップ、2回連続してたたくことをダブルタップといいます。それぞれ、クリック、ダブルクリックと同じことです。

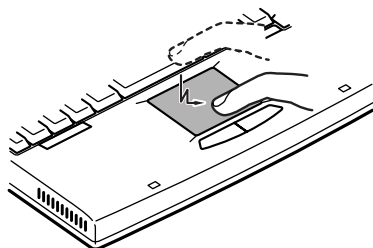



ドラッグ

アイコンやフォルダの上にポインタを合わせ、左クリックボタンを押したまま指をパッド上で軽くすべらせると、ドラッグできます。



パッドに2回続けて触れ、2回目に触れたときにパッドから指を離さずにスライドさせてもドラッグできます。



-  **チェック!!** 「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「電源のプロパティ」「パワーマネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を□にしないでください。NXパッドが正常に動かなくなります。

ポインティングデバイスを設定する

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開く
- 2 「マウス」アイコンをダブルクリックする
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

表示されたウィンドウの左上の各タブで、いろいろな設定を行うことができます。詳しくは、「マウスのプロパティ」のヘルプをご覧ください。

ファイルベースの取り付けと取り外し

△注意

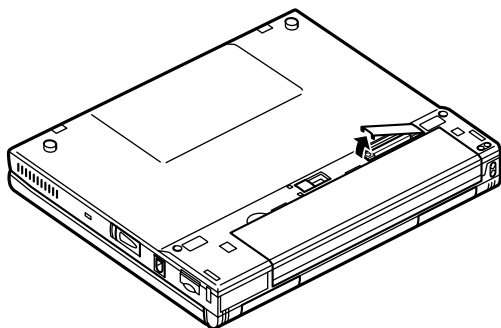


ファイルベースの取り付け/取り外しをするときは、本機の電源を切ってください。電源が入ったままファイルベースの取り付け/取り外しをすると、感電の原因となります。

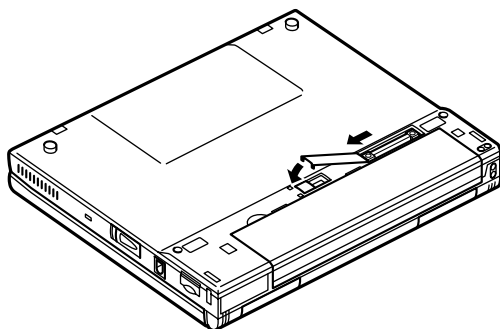
ファイルベースを取り付ける

✓チェック!! サスペンド状態やハイバネーション状態のときに、本機の機器構成を変更しないでください。

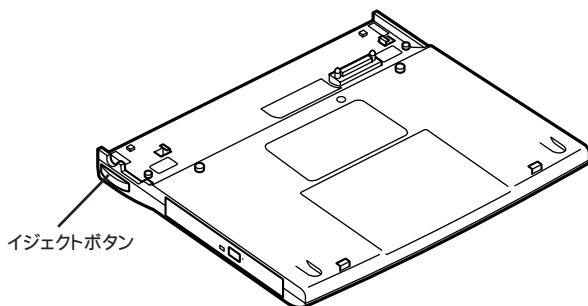
- 1** 本機の電源を切る
サスペンド状態やハイバネーション状態のときは、いったん本機を起動状態に戻してデータを保存してから、本機の電源を切ります。
- 2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、本機からACアダプタやケーブル類、ポートバーをすべて取り外す
- 3** 本機の液晶ディスプレイを閉じ、本機を裏返す
- 4** 本機底面のファイルベース用コネクタのカバーを少し持ち上げる



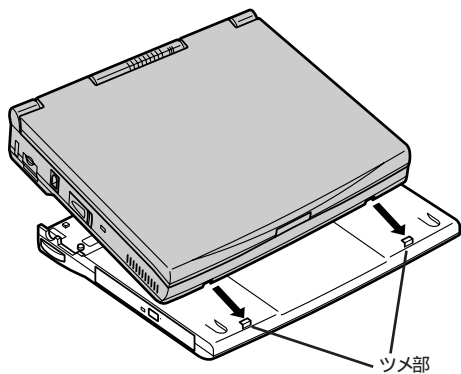
- 5** カバーをスライドさせ、カバーの突起を図の位置の穴にはめ込む



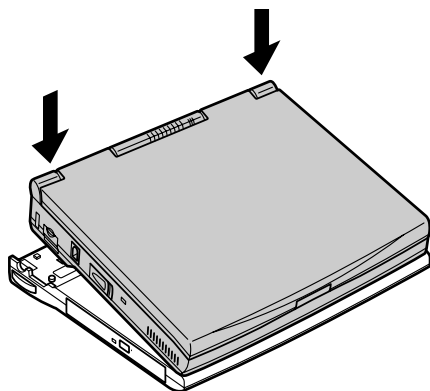
- 6** CD-ROMドライブが左側になるようにして、図のようにファイルベースを置く
また、ファイルベースの左右のイジェクトボタンがファイルベースに押し込まれていることを確認する



- 7** ファイルベースの手前側のツメ部に本機底面のくぼみの位置を合わせ、本機を手前にスライドさせる

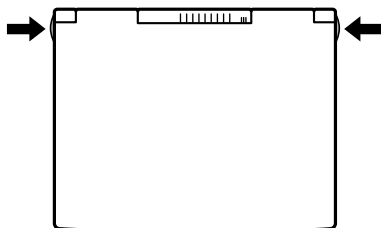


- 8** カチッと音がするまで本機を倒し込む

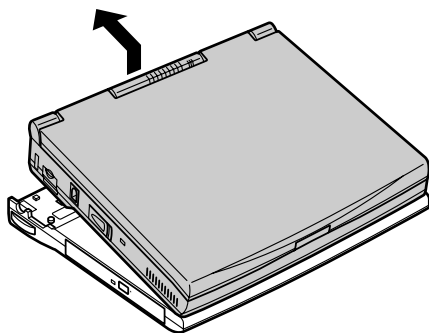


ファイルベースを取り外す

- 1 フロッピーディスクやCD-ROMを各ドライブから取り出す
- 2 本機の電源を切る
サスペンド状態やハイバネーション状態のときは、いったん本機を起動状態に戻してデータを保存してから、本機の電源を切ります。
- 3 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、本機からACアダプタやケーブル類、ポートバーをすべて取り外す
- 4 本機の液晶ディスプレイを閉じる
- 5 ファイルベースのイジェクトボタンを左右同時に押して、ファイルベースのロックを外す



- 6 ファイルベースから本機を取り外す





チェック!!

- ・ファイルベースを接続していないときには、本体底面のファイルベース用コネクタのカバーを元の位置に戻してください。
- ・サスペンド状態やハイバネーション状態のときに、ファイルベースを取り外してレジュームするか電源を入れようとすると、警告音が鳴り、正しくデータが復元されません。このようなときには、次の操作を行ってから機器構成を元の状態に戻し、レジュームするか電源を入れてください。

サスペンド状態に戻すとき： スリープボタンを押す

ハイバネーション状態に戻すとき：【Fn】を押しながらスリープボタンを押す

- ・外出先などで機器構成をもとの状態に戻せないときは、電源スイッチを約4秒以上スライドさせるか、スリープボタンを押しながら電源スイッチをスライドさせて、強制的に電源を切ってから電源を入れなおすと、本機を使うことができます。ただし、この方法では、サスペンドやハイバネーションのデータが失われますので、注意してください。

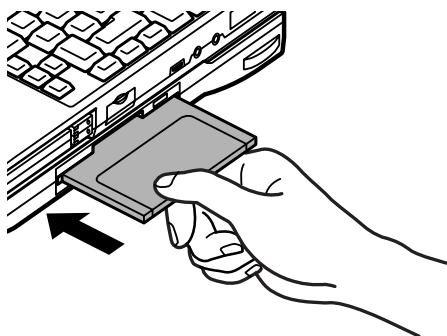
フロッピーディスクドライブ

本機には、3.5インチフロッピーディスクドライブが1台内蔵されています。

フロッピーディスクのセットのし方と取り出し方

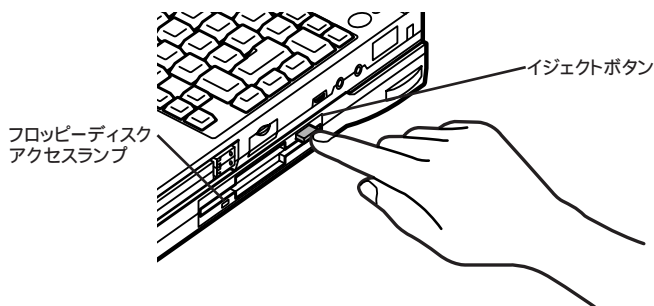
フロッピーディスクの挿入

フロッピーディスクを、ラベルの貼ってある面を上向きにし、ゆっくりと水平に差し込む
フロッピーディスクがセットされると、イジェクトボタンが少しとび出します。




フロッピーディスクを取り出す

- 1 イジェクトボタンを押す
フロッピーディスクが少しとび出します。



2 フロッピーディスクを、ゆっくりと水平に引き出す

-  **チェック!!** フロッピーディスクアクセスランプ点灯中は、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因となります。

CD-ROMドライブ

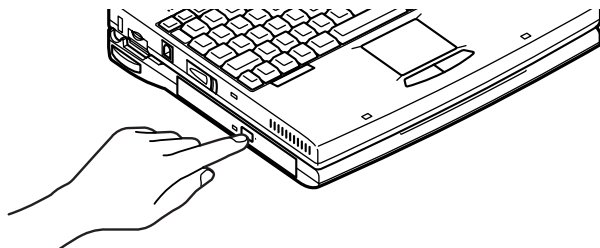
本機に内蔵されているCD-ROMドライブの取り扱いについて説明しています。

使用上の注意

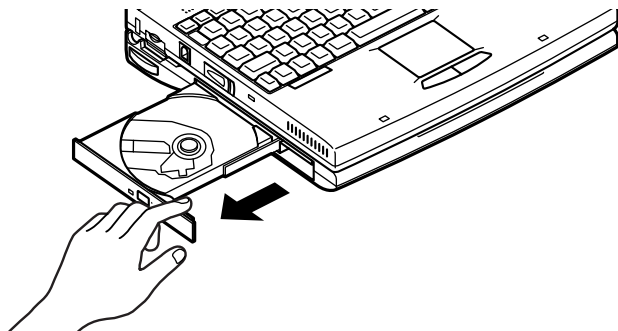
- ・ CD-ROMドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れによってデータが正しく読み取れなくなる恐れがあります。
- ・ CD-ROMアクセスランプが点灯しているときは、CD-ROMを絶対に取り出さないでください。本機の故障の原因となります。
- ・ ラベルなどが貼ってあるなど、重心バランスの悪いCD-ROMを使用すると、本機の操作中に手に振動を感じることがあります。これは故障の原因となるため、CD-ROMの盤面にはラベルやテープなどを貼らないでください。

CD-ROMのセットのしかた

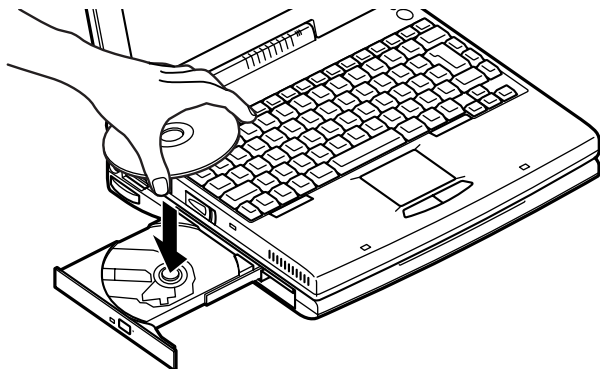
- 1 CDTレイジェクトボタンを押すと、CDトレイが少し飛び出す



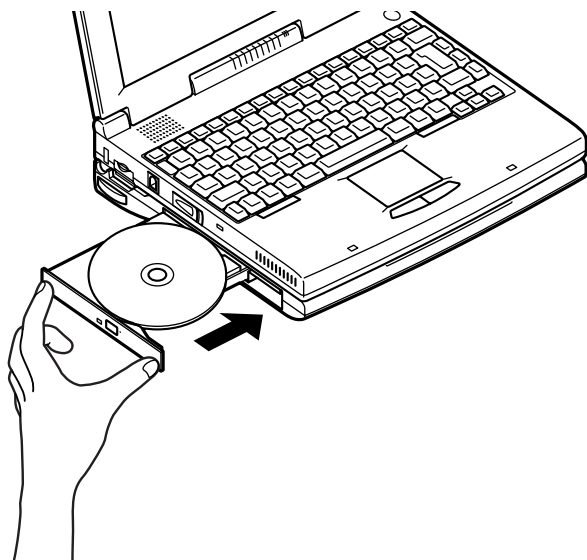
- 2 手でCDトレイを静かに引き出す



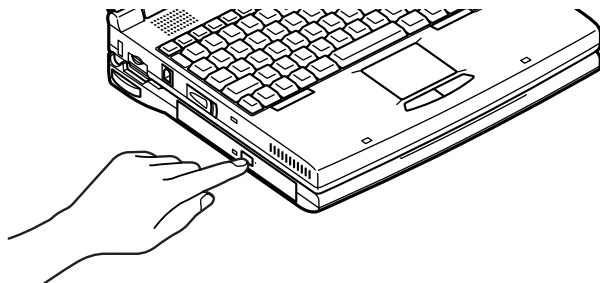
- 3** 文字などが印刷されている面を上にして、CD-ROMをCDトレイの中心にある軸にはめ込む



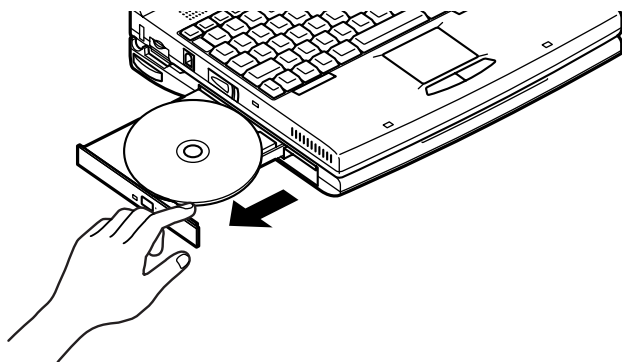
- 4** CDトレイジェクトボタンに触れないようにしてCDトレイ前面を押し、CDトレイを元の位置に戻す



- 1 CD-ROMアクセスランプが点灯していないことを確認して、CDトレイジェクトボタンを押すと、CDトレイが少し飛び出す

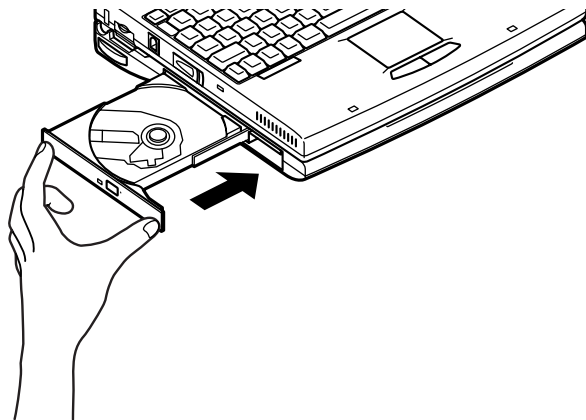


- 2 CDトレイ前面の部分を持って、本機から引き出せなくなるまでゆっくり引き出す



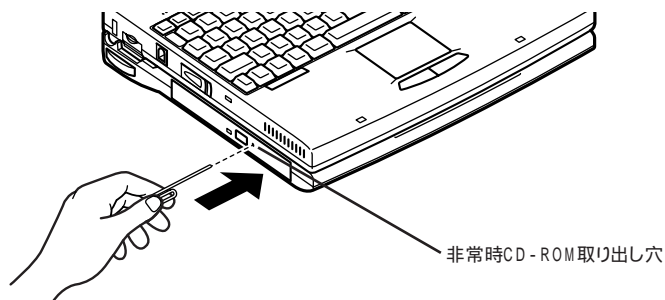
- 3 CD-ROMを取り出す

- 4 CDトレイジェクトボタンに触れないようにしてCDトレイ前面を押し、CDトレイを元の位置に戻す



非常時のCD-ROMの取り出し方

ソフトウェアの暴走など不慮の原因で、CDトレイジェクトボタンを押してもCDトレイが出てこなかった場合は、非常時CD-ROM取り出し穴に太さ1.3 mm程の針金を強く押し込むと、トレイを手動で引き出すことができます。



針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして使用できます。

- チェック!!** CDトレイジェクトボタンを押してもトレイが出てこない、といった非常時以外は、非常時CD-ROM取り出し穴を使って取り出さないようにしてください。



内蔵ハードディスク

ハードディスクは高速で回転する円盤（ディスク）上に、Windows 95やアプリケーションソフトなどのソフトウェアや、それらで作成したファイルを磁気的に記録して、読み出すための精密装置です。強い衝撃や過度の重量などが加わらないよう、取り扱いにご注意ください。

ハードディスクのメンテナンス

Windows 95には、ハードディスクの障害を検出したり、アクセス速度を保つためのメンテナンスソフトが組み込まれています。

スキャンディスク

ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに、障害がないかどうかを調べるためのWindowsのツールです。もし障害があった場合は、可能な範囲で修復することができます。次の手順で操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」 「スキャンディスク」で「スキャンディスク」ウィンドウを開く
- 2 「エラーチェックをするドライブ」の一覧の中から、チェックするドライブ（ここではハードディスクドライブ）をクリックして選択する
- 3 「開始」ボタンをクリックすると、チェックが始まる
チェックには数分から数十分かかることがあります。チェックが終了すると、「結果レポート」が表示されます。


デフラグ

ハードディスクは、長い間使っていると断片化がおこります。断片化とは、データがハードディスクにばらばらに保存されることで、データの読み書きのスピードの低下につながります。デフラグを実行すると、ばらばらに記録されたデータが最適化されます。

デフラグを実行するには、次の手順で操作します。


用語 デフラグ

「フラグメンテーション(断片化)を解消する」の意味の省略語。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」で「デフラグ」をクリックする
- 2 表示された「ドライブ選択」ウィンドウのリストから、をクリックしてデフラグするハードディスクを選ぶ



- 3 「OK」ボタンをクリックする
「ディスクの最適化」ウィンドウが表示されます。
- 4 最適化を行う場合は、「開始」ボタンをクリックする
「ディスクの最適化」が終了したら、画面の指示に従い、デフラグを終了します。

 **チェック!!** デフラグの実行中は、絶対に電源を切ったり、再起動したり、サスペンドやハイバネーションしたりしないでください。

画面表示機能

ここでは、本機の液晶ディスプレイで表示できる解像度と表示色について説明しています。

本機は、本機の液晶ディスプレイだけでなく、別売のディスプレイやプロジェクタなどに画面を表示することもできます。

参照▶ 別売のディスプレイについて 「PART2 周辺機器を使う」の「外部ディスプレイを使う」(p.71)

表示できる解像度と表示色

用語 解像度

解像度とは、ディスプレイの画面上に表示できる文字や図面などの情報量を表すものです。この数字が大きくなるほど、画面上に一度に多くの情報が表示することができ、より細かな表現ができます。

本機のカラー液晶ディスプレイは、標準で次の解像度と表示色が表示できます。

解像度	表示色	本機の液晶ディスプレイのみに表示	別売のディスプレイのみに表示	本機の液晶ディスプレイと別売のディスプレイの同時表示 ¹
640×400ドット	26万色中256色			
	65,536色			
	1,677万色 ⁴			
640×480ドット	16色			
	26万色中256色			
	65,536色			
	1,677万色 ⁴			
800×600ドット	26万色中256色 ²			
	65,536色			
	1,677万色 ⁴			
1,024×768ドット	26万色中256色	×		×
	65,536色	×		×

：画面のまわりが黒く表示される

：フルスクリーン表示可能

×：表示不可

1：本機に別売のディスプレイが接続されていないときには、液晶ディスプレイにのみ表示可能

2：工場出荷時の設定

3：本機の液晶ディスプレイでは、バーチャルスクリーン機能により表示可能

4：ウィンドウアクセラレータのデザイン機能により実現

320×200ドットと320×240ドット解像度対応のアプリケーションなどでは、本機では画面のまわりが黒く表示されます。

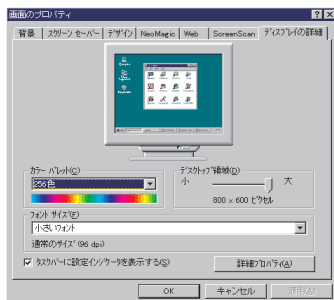
解像度と表示色を変更する

ディスプレイの解像度と表示色の変更は、コントロールパネルで設定します。

1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」をクリックして「コントロールパネル」を開く

2 「画面」アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」が表示されます。

- 3 「ディスプレイの詳細」タブをクリックする
次のような画面が表示されます。



4 解像度または表示色を変更する

解像度の変更

つまみを「大」の方向へドラッグすると高解像度に、「小」の方向へドラッグすると低解像度になります。

表示色の変更

▼ をクリックして表示される一覧の中から、表示色を選びます。

High Color(16ビット)は65,536色のこと、True Color(24ビット)は1,677万色のことです。

- 5 設定が終了したら、【OK】ボタンをクリックする
この後は、画面の指示に従って操作してください。

セキュリティ機能

本機には、本機の不正使用やデータなどの盗難を予防するためのセキュリティ機能が搭載されています。

チェック!! セキュリティ機能を使用している場合でも、「絶対に安全」ということはありません。重要なデータなどの管理、取り扱いには十分注意してください。

本機のセキュリティ機能

本機のセキュリティ機能には、次のようなものがあります。セキュリティ機能は、BIOSセットアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード」または「I/Oロック」の項目で設定します。

ユーザーパスワード

日常的に本機を使用する人のためのパスワードです。

参照 ユーザーパスワードを設定する 「PART3 システムの設定」の「パスワード」(p. 92)

スーパーバイザーパスワード

システム管理者など、本機の運用を管理する人のためのパスワードです。

参照 スーパーバイザーパスワードを設定する 「PART3 システムの設定」の「パスワード」(p. 92)

チェック!!

- ・設定したパスワードは、忘れないように控えておくことをおすすめします。パスワードを忘れてしまった場合には、解除処置が必要です。万一忘れてしまったときは、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。お問い合わせ先は、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。
- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処理をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。

1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を確認できるもの)
 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただく必要があります。専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応いたしかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

I/Oロック

シリアルポート、赤外線ポート、IDEインターフェースやパラレルポートなどを使用できないように設定できます。この機能を使うと、プログラム、データなどが不正に流出するのを予防できます。I/Oロックは、BIOSセットアップユーティリティで設定します(p.94)

セキュリティ機能の使用例

セキュリティ機能は、本機の使用状況に合わせて次のように利用できます。

日常的な使用者以外が本機の設定を管理したい場合

本機を日常的に使用する人とは別の人が、本機の設定をしたい場合、はじめに管理者がユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方を設定しておき、ユーザーパスワードのみを各利用者に通知します。このようにすると、管理者以外はBIOSセットアップユーティリティのパスワードに関する設定を変更することができなくなります。

日常的な使用者が本機の設定を管理したい場合

日常的な本機の利用者がBIOSセットアップユーティリティのパスワードに関する設定も自由に行いたい場合、利用者がユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方を設定します。このようにすると、利用者以外には本機の起動やBIOSセットアップユーティリティの設定の変更ができなくなります。

パスワードを設定しているときの電源の入れ方

BIOSセットアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード確認タイミング」が「システム起動時」に設定されている場合は、次の手順で電源を入れます。

- 1 本機の電源スイッチをスライドして電源を入れると、パスワードの入力画面が表示される





Enter CURRENT Password:


- 2 設定されているユーザーパスワードをキーボードで入力して、【Enter】を押す
正しいパスワードが入力されると、Windowsが起動します。

- チェック!** ・パスワードの入力では、キーボードの【Back Space】などで文字を修正することはできません。
- ・誤ったパスワードが入力されると、「×」と表示されます。パスワードの入力に3回失敗すると、パスワードが入力できなくなります。このときは、電源スイッチをスライドさせて電源を切った後、再度手順1からやり直してください。

パスワードを設定しているときのレジューム

パスワードが設定されているときには、次の手順でレジュームすることができます。

- 1 スリープボタンを押すか、または電源スイッチをスライドさせる
キャップスロックキーランプ  とスクロールロックキーランプ  が交互に点灯します。このときは、画面には何も表示されません。
- 2 設定されているユーザーパスワードをキーボードで入力して、【Enter】を押す
正しいパスワードが入力されると、レジュームされ、サスペンドの内容が表示されます。

-  **チェック!!** ・ ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方が設定されている場合、前回電源を入れたときに入力したパスワードでないと、レジュームできません。
- ・ パスワードの入力では、キーボードの【Back Space】などで文字を修正することはできません。
 - ・ 誤ったパスワードが入力されてもレジュームされません。

赤外線通信機能

赤外線通信とは、ケーブルを使わずに赤外線を使って、パソコンどうしのデータの交換を行う通信方法です。

赤外線通信をする

本機では、IrDA SIR Data Link Std.に準拠した赤外線通信ができます。本機には、赤外線通信用のアプリケーションとして、「IntelliSync97」がインストールされています。

参照 ▶ IntelliSync97の使い方について 「PART4 添付アプリケーションの追加と削除」の「IntelliSync97」(p.130)

赤外線通信機能を使えるようにする

- 1 BIOSセットアップユーティリティを起動する(p.91)
- 2 「デバイス」の「通信」の「赤外線ポート」で「設定方法」を「手動設定」または「自動設定」にする
自動設定を選ぶと、自動的に設定が行われますが、手動設定を選んだときは、BIOSセットアップユーティリティでCOM番号を設定する必要があります。
- 3 BIOSセットアップユーティリティを終了し、システムを再起動する
- 4 「デバイス ドライバ ウィザード」の画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」と表示されるので、「完了」ボタンをクリックする
- 6 「赤外線デバイス ウィザード」の画面が表示されるので、「キャンセル」ボタンをクリックする
- 7 「IntelliSync97」を起動し、「IntelliSyncランチャー」で設定を行う

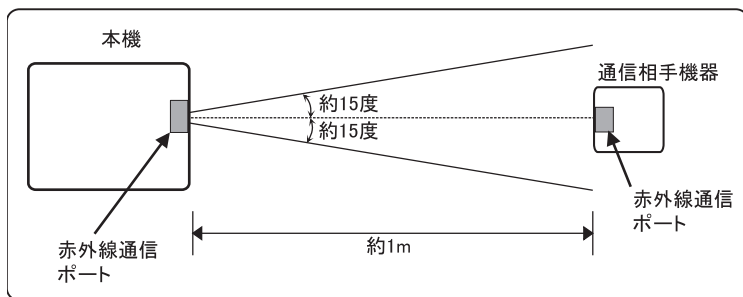
チェック!! 異なる機器との通信には、両機器間の通信に対応したソフトウェアが必要です。

こんなときはうまく通信できないことがあります

- ・通信相手機器の機種が本機と異なっている(相手の機器の性能に依存するため)
- ・通信相手機器がIrDA規格に準拠していない

機器の配置について

赤外線通信をする機器は、次のように配置してください。



- ・互いの機器の赤外線通信ポートが真正面に向き合うようにする
- ・互いの機器の赤外線通信ポートの距離を1m以内にする

機器を配置するときの注意

- ・赤外線通信ポートを汚したり、傷つけたりしない
- ・本機と通信相手の機器との間に、赤外光を遮るような物を置かない
- ・互いの機器どうしを接触させない

チェック!! 通信相手の赤外光が本機の通信ポートまで届かないときや通信相手機器の通信可能距離が本機より短く本機の場合は1m以内ときは、通信相手の機器が本機の通信可能範囲にあっても、通信できないことがあります。このようなときは、互いの機器の赤外線通信ポートを真正面に向き合わせ、できるだけ近くに置いてください。このとき、互いの装置が接触しないようにしてください。

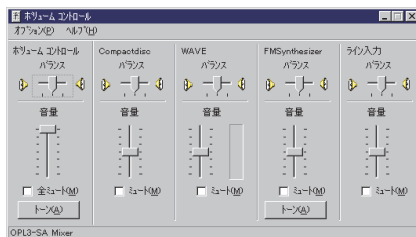
こんなときは通信距離が短くなることがあります

- ・ 直射日光や蛍光灯の直下
- ・ 機器どうしが正しく向き合っていない
- ・ 他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器が近くにある
- ・ 本機の赤外線通信ポートの指向性 (約15度程度) の範囲を超えているとき

サウンド機能の設定

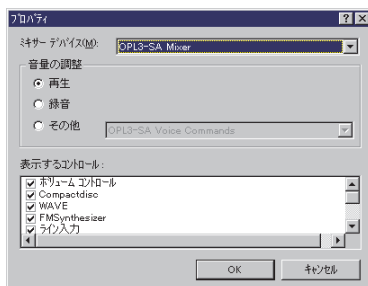
ボリュームコントロールを使うと、内蔵音源の再生音量や録音時の入力レベルを調節することができます。

ボリュームコントロール画面を表示するには、「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「マルチメディア」「ボリュームコントロール」をクリックします。



つまみを上下すると、音量調節ができます。
各音源で、左右のスピーカーのバランスを調節できます。
「ミュート」をチェックすると消音状態になります。

メニューバーの「オプション」「プロパティ」で「プロパティ」ウィンドウを開き、「再生」「録音」「その他」のどれかを選択すると、表示項目を切り替えることができます。



メニューバーの「オプション」「トーン調整」を選択すると、「トーン」ボタンがボリュームコントロール画面に追加表示されるので、それをクリックするとトーン調整画面で調整が行えます。

内蔵モデム

本機を内蔵のモデムを介して電話回線に接続すると、インターネットや電子メールなどのやり取りができます。

電話回線との接続

接続可能な電話回線のコンセントについて

本機に接続可能な電話回線は2線式のみです。電話回線に接続する前に、使用する電話回線の種類を確認してください。

- ・ モジュラージャック式：

本機に付属のモジュラーケーブルで接続できます。

- ・ 3ピンプラグ式コンセント：

市販の3ピンプラグ変換アダプタを使用するか、NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。

- ・ 直結配線方式：

モジュラー式コンセントに変更する必要があります。NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。

✓チェック!! 本機内蔵のFAXモデムボードは、加入電話回線に適合するように設定されています。加入電話回線以外と接続すると、うまく動作しないことや、内蔵FAXモデムボードやパソコン本体などを破損するおそれがあります。

電話回線を接続する

⚠警告



感電注意

雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

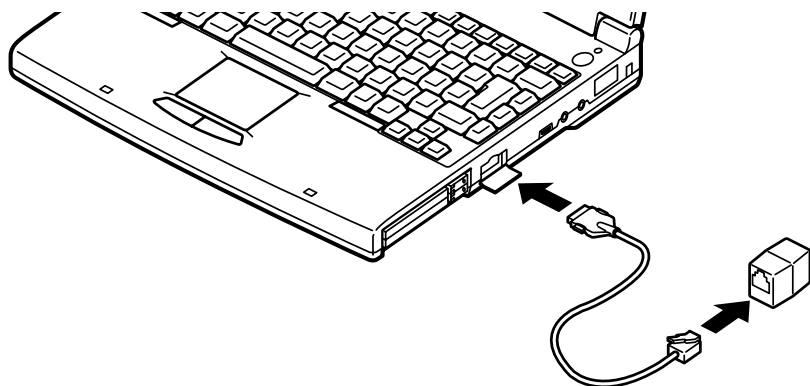
⚠注意



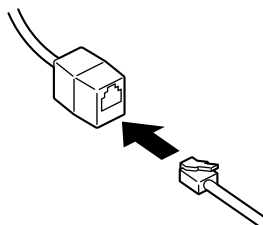
感電注意

モジュラージャックの端子に触れないでください。電話回線と接続しているモジュラージャックを抜いたときに電話がかかってくると、電話回線上に電圧がかかるため、端子に触れると感電することがあります。

- 1** 本機の電源を切る
サスペンド状態やハイバネーション状態のときは、いったん本機を起動状態に戻してデータを保存してから、本機の電源を切ります。
- 2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、本機からACアダプタやケーブル類、ポートバー、ファイルベースをすべて取り外す
- 3** 電話機のモジュラーケーブルをモジュラープレートなどから取り外す
- 4** 本機の電話回線用モジュラーコネクタのカバーを開け、添付の専用モジュラーケーブルのコネクタを本機のコネクタに接続する
- 5** 専用モジュラーケーブルのモジュラージャックを、添付の中継アダプタの片方に接続する



- 6** 添付のモジュラーケーブルの片方を中継アダプタに、もう片方をモジュラープレートなどに接続する



ダイヤル設定方法

ダイヤルの設定を確認または変更したいときは、Windowsのコントロールパネル内の「モデム」アイコンを開いて行います。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをクリックする
- 2 「モデムのプロパティ」ウィンドウ下段の「ダイヤルのプロパティ」ボタンをクリックする
「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが開く



使用する場所の市外局番を入力する
内線電話から外線へ接続する場合には必ず入力する

プッシュ回線を使用するときは「トーン」、ダイヤル回線のときは「パルス」に設定してください。回線の種類が不明の場合は、NTTにお問い合わせください。

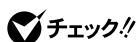
本機からファックスする

コンピュータのデータを直接FAXに送信したり、コンピュータでFAX受信することもできます。

本機にはファクシミリ通信機能を使うために、次のFAXソフトウェアがインストールされています。

- ・ TELFAX-NX (p.128)
- ・ Microsoft FAX (使い方はヘルプをご覧ください)

通信機能使用上の注意



チェック!!

- ・ 本機では、データ通信、ファクシミリ通信、インターネット通信、留守番電話機能、スピーカーホン機能 (ハンズフリー機能) の各機能が使えますが、これらの機能は添付のソフトウェア以外では動作しない場合があります。
- ・ 内蔵FAXモデムは一般電話回線にのみ対応しています。
- ・ スピーカーホン機能を使用中、回線の接続場所や状態により、内蔵スピーカーからの音量が小さくなる場合があります。このような場合は、ヘッドホンやイヤホンまたは外付けスピーカーのご使用をおすすめします。また、スピーカーホン機能を使うときには、内蔵または外付けマイクロホンのご使用をおすすめします。
- ・ スピーカーホン通話中に相手側からの肉声以外の音 (保留音など) が入ると、スピーカーからの音が大きくなったり、小さくなったりすることがあります。その場合は、送話の音量レベルを下げてください。
- ・ 加入電話回線がトーン式かダイヤル式かわからないときは、NTTに確認してください。
- ・ 回線の状態によっては、接続しにくかったり、通信時に雑音が入ることがあります。
- ・ キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れてしまいます。
- ・ コードレスホンや親子電話などの加入電話回線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送受信ができなくなる場合があります。
- ・ 回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できない場合があります。

- ・電話局の交換機の種類によっては、14400bpsでのファクシミリ通信ができないことがあります。この場合には、通信速度を9600bpsにしてください。
- ・データ通信を行う場合、フロー制御はRTS/CTSに設定してください。それ以外に設定すると、データ抜けが生じる可能性があります。
- ・通常の電話回線を使用する場合、送信レベルはご購入時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合には、送信レベルの調整が必要なことがあります。送信レベルの調整は、工事 担当者以外が行うことは法律で禁じられていますので、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。
- ・内蔵FAXモデムのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダイヤル信号にあわせた調整が必要です。詳しくは、下記のREADMEファイルをご覧ください。

C: ¥WINDOWS ¥ATCREAD.DOC

周辺機器を使う

ここでは、別売の周辺機器の接続方法や注意事項を説明しています。

このPARTの内容

- 周辺機器を利用する
- プリンタを使う
- 外部ディスプレイを使う
- PCカードを使う
- メモリ(RAM)の増設
- その他の機器を使う

周辺機器を利用する

プリンタや外部モニターなど、本機に接続して使用する機器全般を、周辺機器といいます。本機に周辺機器を接続するには、ポートバーを使用します。

用語 ポート

周辺機器や外部のコンピュータと本機との間で信号(データ)をやり取りするため「窓口」となるのがポートです。やり取りする信号(データ)を船荷に例え、それを積み降ろしする港(ポート)に例えてこの名前が付いています。Windows 95のCOM1ポートは本機のシリアルコネクタ(ポート)に、LPT1はパラレルコネクタ(ポート)にあたります。


ポートバーの取り付け方

注意



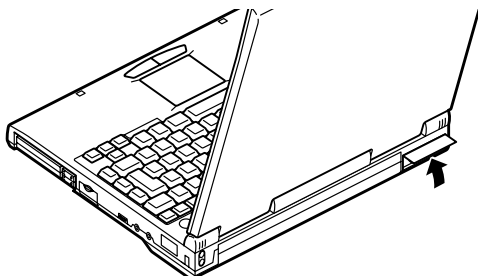
感電注意

ポートバーの取り付け/取り外しをするときは、本機の電源を切ってください。電源が入ったままポートバーの取り付け/取り外しをすると、感電の原因となります。

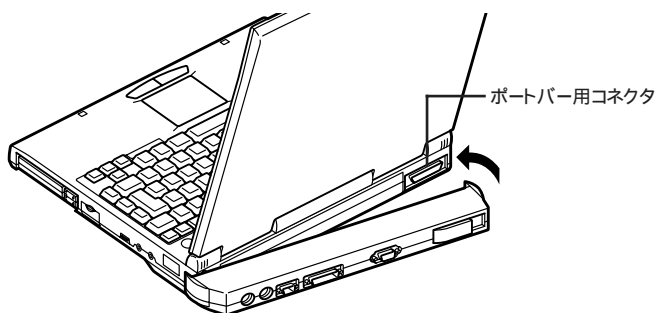
 **チェック!!** 本機のポートバー用コネクタには、添付のポートバー以外は取り付けないでください。

- 1** 本機の電源を切る
サスペンド状態やハイバネーション状態のときは、いったん本機を起動状態に戻してデータを保存してから、本機の電源を切ります。
- 2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、本機からACアダプタやケーブル類、ファイルベースをすべて取り外す

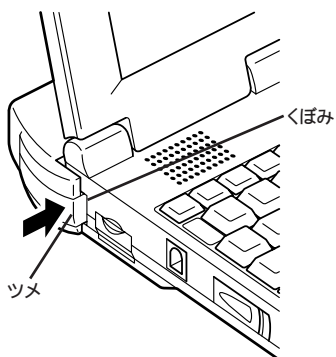
- 3** 本機背面のポートバー用コネクタのカバーを下から上に開け、コネクタの上にスライドして収納する



- 4** 本機の右側面のくぼみにポートバーの片方のツメをかけ、本機背面のポートバー用コネクタにポートバーのコネクタを奥までしっかり差し込む



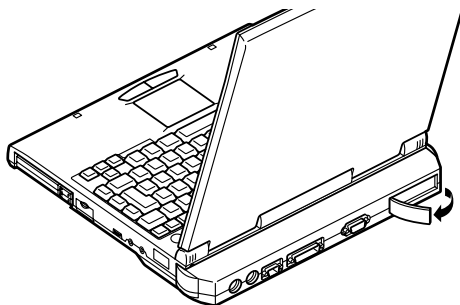
- 5** 本機の左側面のくぼみに、ポートバーのもう片方のツメをしっかり押し込む



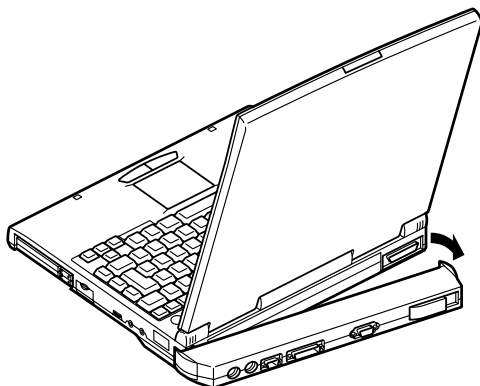
- チェック!!** ポートバーを本機に取り付けているときは、ポートバーを持って本機を持ち運ばないでください。

ポートバーの外し方

- 1** 本機の電源を切る
サスペンド状態やハイバネーション状態のときは、いったん本機を起動状態に戻してデータを保存してから、本機の電源を切ります。
- 2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、本機からACアダプタやケーブル類、ファイルベースをすべて取り外す
- 3** ポートバーのレバーを、コネクタが外れるまで引くと、ポートバーのロックが外れる



- 4** ポートバーを本機から取り外す



5 ポートバー用コネクタのカバーを閉める

周辺機器を利用するために知っておきたいこと

⚠警告



感電注意

雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

⚠注意



感電注意

周辺機器の取り付けや取り外しをするときは、本機の電源を切り、本機と周辺機器の電源コードを抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま、周辺機器の取り付けや取り外しをすると、感電の原因となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

周辺機器の取り付けや取り外しのときの注意



チェック!!

- ・本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、周辺機器の取り付け/取り外しをしないでください。本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、本機の電源を入れてデータを保存してから、電源を切り、周辺機器の取り付けや取り外しを行ってください。
- ・別売の周辺機器を取り付けるときには、その周辺機器が本機に対応していることを確認してください。また、周辺機器によっては使用上の制限事項がある場合があります。周辺機器の説明書などをよくお読みのうえ使用してください。当社製以外の周辺機器を使用する場合は、機器の製造元や発売元などに上記の事項を確認してください。
- ・周辺機器の取り付けや取り外しは、取扱説明書に従って正しく行ってください。
- ・周辺機器によっては、専用のケーブルが必要な場合があります。接続する前に確認のうえご用意ください。

周辺機器のドライバについて

周辺機器を使うには、本機と周辺機器の仲介をする「ドライバ」と呼ばれる周辺機器専用のソフトウェアを、本機にセットアップする(組み込む)必要があります。

このセットアップは次の2つの場合があります。

「プラグ&プレイ機能」対応の周辺機器の場合

機器を本機に接続してWindowsを起動すると、自動的にドライバの設定が行われ、機器が使用可能な状態になります。

「プラグ&プレイ機能」に対応していない周辺機器の場合

機器を本機に接続したあと、ドライバの設定が必要な場合があります。設定の詳細は、本機やドライバに添付のReadMeファイルや周辺機器のマニュアルをご覧ください。



チェック!!

- ・ドライバが正しく組み込めなかった場合は、周辺機器が使用できないばかりか、本機の動作が不正になることがあります。その場合は、周辺機器のマニュアルに従って、再度ドライバを正しく組み込んでください。
- ・READMEファイルは、Windowsの「メモ帳」などで読むことができます。

プラグ&プレイ(PnP)セットアップについて

本機にインストールされているWindows 95には、プラグ&プレイ機能用に多くの周辺機器のドライバがあらかじめ添付されています。接続しようとする周辺機器がプラグ&プレイ機能に対応しており、かつ添付されたドライバの中に該当するものがあれば、周辺機器の検出と設定が自動的に行われます。

電源ON/OFFの順序

本機に周辺機器を接続しているときには、次の順番で電源をON/OFFにしてください。

電源を入れるとき

周辺機器をON

本機をON

電源を切るとき

本機をOFF

周辺機器をOFF

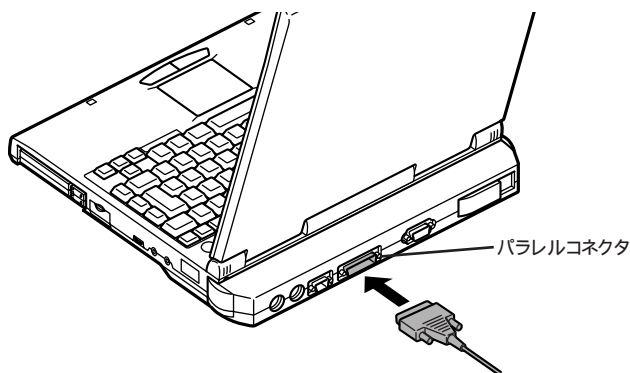
プリンタを使う

プリンタを使用するには、そのプリンタ機種に対応した専用のドライバが必要です。ドライバは通常フロッピーディスクなどの形でプリンタに添付されます。また、本機にも代表的なプリンタのドライバが数多く添付されています。

プリンタの接続

プリンタとの接続には、25ピンパラレルインターフェイスに対応したプリンタケーブルが必要です。

- 1 本機にポートバーを取り付ける
- 2 ポートバーのパラレルコネクタにプリンタケーブルの小さい方のコネクタを、向きに注意して差し込む



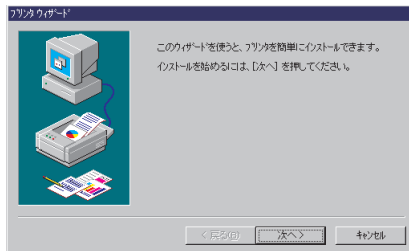
- 3 プリンタケーブルの大きい方のコネクタをプリンタのコネクタに差し込む
接続についてはプリンタのマニュアルも参照してください。
- 4 プリンタの電源ケーブルと本機の電源コードを、ACコンセントに接続する

プリンタの機種によっては、本機のUSBコネクタに接続できるものもあります。

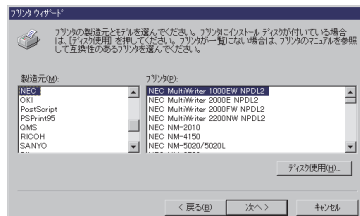
プリンタの設定

プリンタの設定は、使用するプリンタの機種ごとに、Windowsの「プリンタ」ウィンドウで行います。例えば、会社で使うプリンタと家庭で使うプリンタの機種が異なる場合は、それぞれの機種に対して設定を行う必要があります。

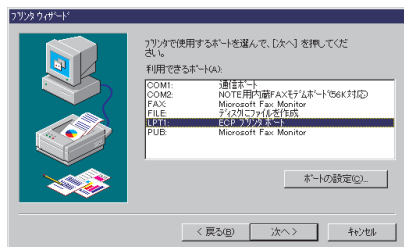
- 1 プリンタが正しく接続されていることを確認する
- 2 「スタート」ボタン「設定」「プリンタ」を選択し、「プリンタ」ウィンドウを開く
すでに設定済みのプリンタがある場合は、その機種のアイコンが表示されています。
- 3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックすると「プリンタウィザード」ウィンドウが開く



- 4 「次へ」ボタンをクリックし、表示されたリストの中から、使用するプリンタの製造元、次に使用するプリンタ機種(または互換性のある機種)を選択する
プリンタにインストールディスクドライブディスクが添付されている場合は、「ディスク使用」ボタンをクリックし、インストールディスクのデータをインストールしてください。



- 5 「次へ」ボタンをクリックすると、プリンタを使用できるポートのリストが表示されるので、LPT1を選択する



- 6 「次へ」ボタンをクリックし、表示された画面の「プリンタ名」欄に使用するプリンタの名前を付ける

この欄には手順4で選択したプリンタの機種名がプリンタ名として表示されるので、特に名前を付け直す必要がなければ、そのまましておきます。

このプリンタを通常使用するプリンタとして登録する場合は、下欄の「はい」をクリックします。

- 7 「次へ」ボタンをクリックすると、テスト印刷を行うかどうかを選択する画面が表示される

「はい(推奨)」を選択すると、テストページの印刷によってプリンタの接続や設定が正常に行われたかどうか確認することができます。この場合は、あらかじめプリンタのマニュアルに従って用紙などをセットしておいてください。



- 8 設定が終了したら「完了」ボタンをクリックする
もし、今までの設定を変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックして前の設定画面に戻り、設定をやり直します。

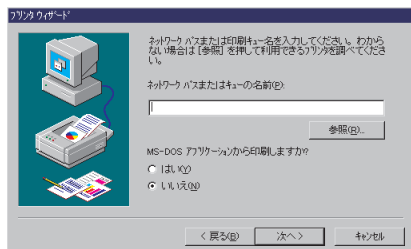
手順4でインストールしなかった場合やインストールが必要な場合は、ここで「ディスクの挿入」画面が表示されますので、プリンタのマニュアルをご覧になり、指定されたディスクをセットしてください。設定がすべて終了すると、設定したプリンタのアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

ネットワーク上の共有プリンタを使うには

ネットワークに接続されているプリンタを使用する場合は、次のように設定します。

設定するには、あらかじめプリンタのパスを調べておく必要があります。プリンタのパス名など、ネットワークプリンタについては、ネットワークの管理者に問い合わせてください。

- 1 「プリンタの設定 (p.68)」の手順1～3を行う
- 2 「次へ」ボタンをクリックする
- 3 「ネットワークプリンタ」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックすると次の画面が表示される



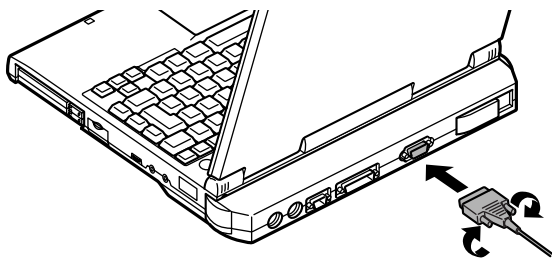
- 4 ネットワークパス名を入力する
「参照」ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているプリンタが表示されるので、そこから選択することもできます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックし、その後は画面の指示に従ってプリンタの設定を行う

外部ディスプレイを使う

本機には、CRTディスプレイやプロジェクタを接続することができます。CRTディスプレイの大画面で作業したり、プロジェクタを使った効果的なプレゼンテーションなどが可能になります。

CRTディスプレイを接続する

- 1 本機にポートバーを取り付ける
- 2 ディスプレイ用ケーブルのコネクタを、ポートバーのCRT用コネクタにコネクタの向きに注意して差し込み、ネジを回して固定する



- 3 CRTディスプレイの電源ケーブルを、ディスプレイ背面の電源コネクタに差し込む
詳細はCRTディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- 4 CRTディスプレイの電源ケーブルのプラグを、ACコンセントに接続する

チェック!! CRTディスプレイを接続した場合、本機はACアダプタでお使いください。

表示できる解像度と表示色

別売のCRTディスプレイでは、次の解像度と表示色を表示できます。

表示解像度 (ドット)	水平走査周波数 (KHz)	垂直走査周波数 (Hz)	表示色			
			16色	256色	65,536色	1,677万色
640 × 400	31.5	70	×			
640 × 480	31.5	60				
	37.5	75				
	43.3	85				
800 × 600	37.9	60	×			
	46.9	75	×			
	53.7	85	×			
1,024 × 768	48.4	60	×			-
	56.0	70	×			-
	60.0	75	×			-
	68.7	85	×			-

:表示可能

- :表示不可能

プロジェクトを接続する

液晶プロジェクトと解像度について

別売の液晶プロジェクトを使用する場合は、接続する前に次の表を参考に、解像度などを確認してください。

表示解像度	走査周波数		プロジェクトモデル	
	水平(KHz)	垂直(Hz)	ViewLightS800	ViewLight V600
640 × 480	31.5	60		
800 × 600	37.9	60		
	46.9	75		-
1,024 × 768	60.0	75		-

: 表示可能。ただし、ユーザー調整が必要。

- : 表示不可能

: 簡易表示です。なお、表示画素数はViewLight S800は800×600ドット、ViewLight V600は640×400ドットです。それぞれの画素数と異なる解像度の際は、文字や罫線の大きさなどが不均一になったり、一部欠ける場合があります。

接続の詳細は、プロジェクトのマニュアルをご覧ください。

表示ディスプレイの切り替え

本機のホットキー機能を使うと、キー操作で簡単に表示ディスプレイの切り替えを行うことができます(p.25)

ディスプレイに合わせて本機を設定する

別売のCRTディスプレイを使用したとき、表示されたメッセージが適切でなかったり、プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合には、次の操作を行ってください。

- 1** 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「画面のプロパティ」ウィンドウの「ディスプレイの詳細」タブをクリックし、「詳細プロパティ」をクリックする
- 3** 「モニター」タブをクリックして「変更」をクリックし、「すべてのデバイスを表示」がある場合はクリックする
- 4** 表示された「デバイスの選択」ウィンドウで「製造元」と「モデル」を選択する
ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」で(「スタンダードモニター」)、「モデル」では接続したディスプレイに対応した解像度を選んでください。

- 5 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- 6 再び「OK」ボタンをクリックする
- 7 画面のメッセージに従って、Windowsを再起動する
これでディスプレイの設定が完了しました。

PC カードを使う

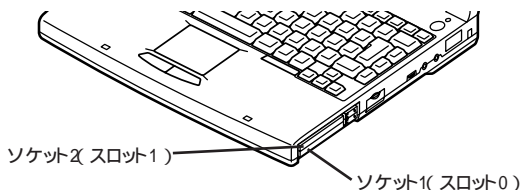
本機では、PC Card Standard準拠のPCカードが使用できます。PCカードを使うことで、本機の機能を拡張したり、様々な周辺機器を接続することができます。

用語 PCカードとは

PCカードとは、社団法人日本電子工業振興協会(JEIDA)とPCMCIAとの間で共同で標準化を進めているカードの名称のことです。PCカードにはいろいろな種類があり、用途も幅広く使われています。メモ리카ードやモデムカード、SCSIインターフェイス対応機器を接続するためのSCSIカードなどがあります。また、ハードディスクとして使われるカードもあります。

PCカードスロットについて

PCカードを装着するための上下2段に分かれたソケットです。



TYPE IかTYPE IIのPCカード(CardBus対応PCカードも可)を上下の
スロットに1枚ずつ2枚まで、または上下のスロットを合わせて1枚のTYPE
IIIのPCカードを1枚使用できます。

スロット0では、ZVポート対応のPCカードを1枚使用できます(スロット1は
ZVポートに対応していません)。

チェック!! ZVポートおよびCardBus対応のPCカードは、本機にインストールされている
Windows 95でのみ使用できます。市販のWindows 95では使用できません。

PCカードの取り扱いについて

PCカードは精密にできています。PCカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ・ 高温多湿あるいは低温の場所に放置しない
- ・ 濡らさない
- ・ 重いものを乗せたり、ねじ曲げたりなどしない
- ・ ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えない
- ・ PCカードの端子部分に金属などを差し込まない
- ・ 本機のPCカードスロットでは、PC Card Standardに準拠していないPCカードは使用できません。対応していないPCカードを無理に押し込むと、故障の原因となります。

PCカードのセットのし方と取り出し方

△注意



高温注意

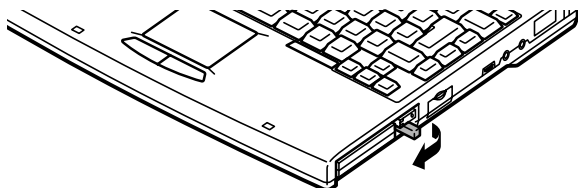
本機の使用時や使用直後はPCカードが熱くなっていますので、出し入れに注意してください。



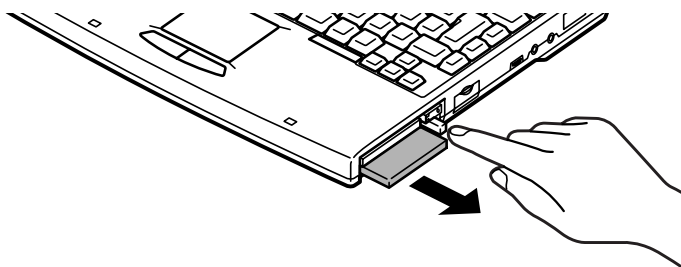
チェック!!

- ・ PCカードには表と裏があり、スロットへ差し込む方向も決まっています。まちがった向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットが破損するおそれがあります。
- ・ 本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、PCカードをセットしたり取り出したりしないでください。本機の機器構成を変更すると、サスペンドやハイバネーションのデータが消えてしまうことがあります。
- ・ アプリケーションソフトを使用中は、PCカードのセットや取り出しをしないでください。

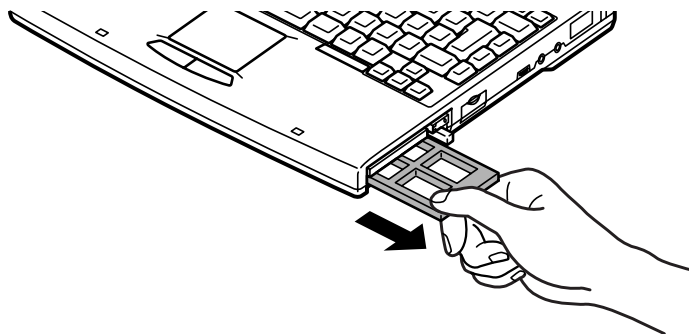
- 1** PCカードイジェクトボタンを図のように起こす



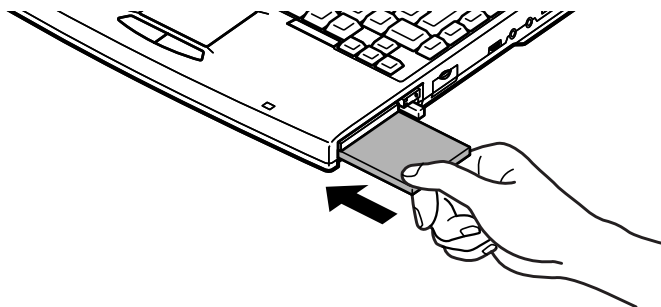
- 2** PCカードイジェクトボタンを押す
ダミーカードが少し飛び出します。



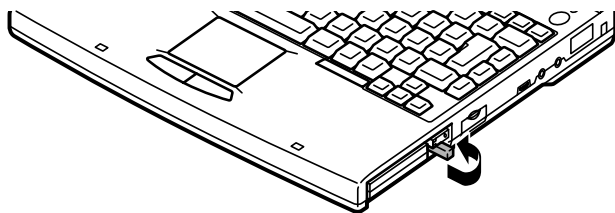
- 3** ダミーカードを矢印の方向に静かに引きぬく



- 4** PCカードを、差し込む向きに注意してラベル面を上にして、スロットと水平に静かに差し込む



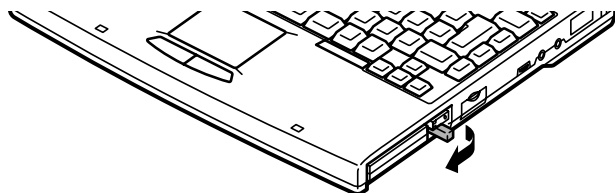
- 5** PCカードが完全に差し込まれると、PCカードスロットのイジェクトボタンが少し飛び出すので、イジェクトボタンを手前に引き出してから右に倒す



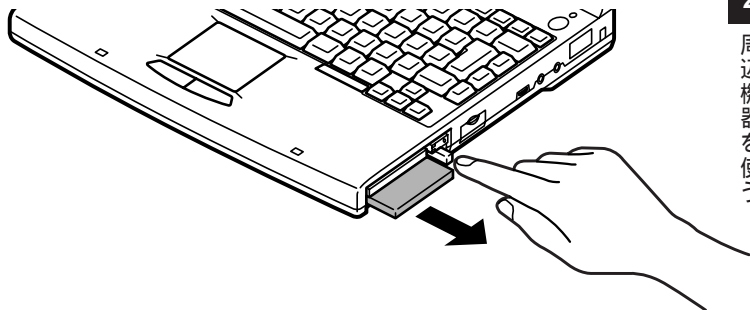
チェック! PCカードイジェクトボタンを完全に引き出さずに無理に倒そうとすると、破損の原因となります。

PCカードの取り出し

- 1** イジェクトボタンを図のように起こす

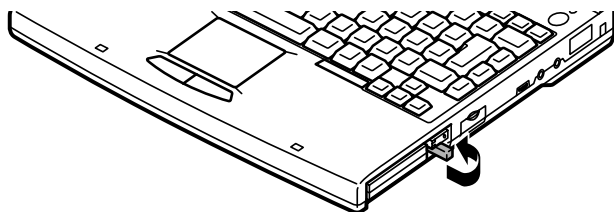


- 2** 起こしたイジェクトボタンを押してPCカードを押し出し、PCカードを静かに引き抜く



- 3** 「PCカードのセットの仕方」の手順3で取り出したダミーカードを、PCカードスロットに静かに差し込む
完全に差し込まれると、PCカードイジェクトボタンが少し飛び出します。

- 4** PCカードイジェクトボタンを完全に手前に引いてから、元の位置に倒す



PCカードの設定

PCカードを使用するときには、次の設定が必要な場合があります。

割り込みレベルの設定

PCカードによっては、割り込みレベルの設定が本機の他の設定と重なる場合があります。PCカードのマニュアルと、このマニュアルのp. 175をご覧ください。割り込みレベルが重なっていないか確認してください。割り込みが重なる場合は、重ならないように設定を変更してください。

メモリ(RAM)の増設

オプションの増設RAMボードを付加することで、より多くのアプリケーションを同時に立ち上げたり、大きなデータをより高速に扱うことができます。

本機に使用できる増設RAMボード

本機には、次の増設RAMボードを取り付けることができます。

型名	メモリ容量
PK-UG-M009	16Mバイト
PK-UG-M010	32Mバイト
PK-UG-M011	64Mバイト

増設RAMボードの取り付けと取り外し

△注意



増設RAMボードの取り付け/取り外しをするときは、電源コードとバッテリーパックを取り外してください。電源コードやバッテリーパックが取り付けられたいまま増設RAMボードの取り付け/取り外しをすると、感電や発煙の原因となります。

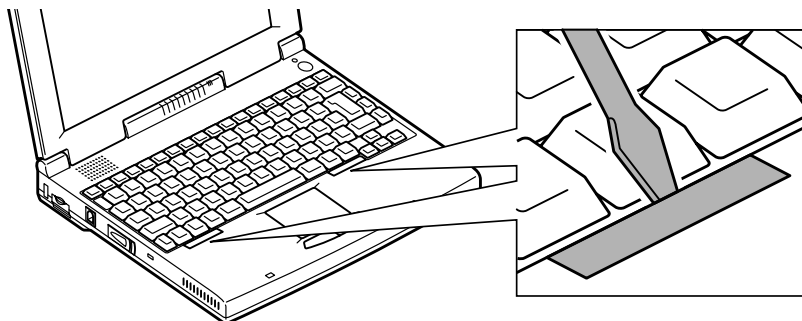
- ✓チェック!!**
- 増設RAMボードは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態で増設RAMボードを扱うと破損する原因となります。増設RAMボードに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
 - 増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因となります。
 - ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
 - 増設RAMボードをまちがった向きで無理に取り付けようとすると、本機のコネクタ部や増設RAMボードが故障する原因となります。取り付け方向に注意してください。

増設RAMボードの取り付け方

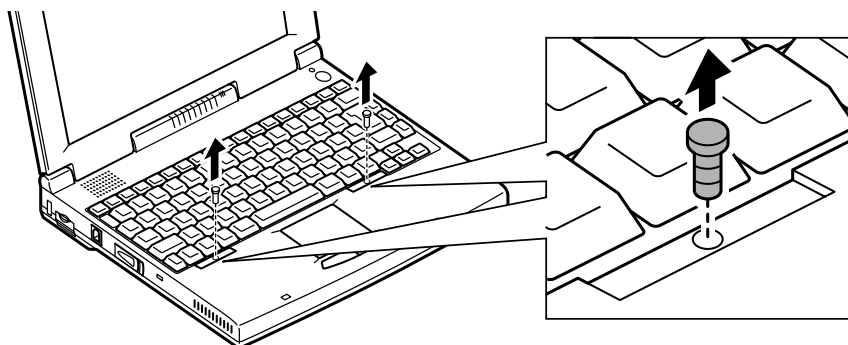
2

周辺機器を使う

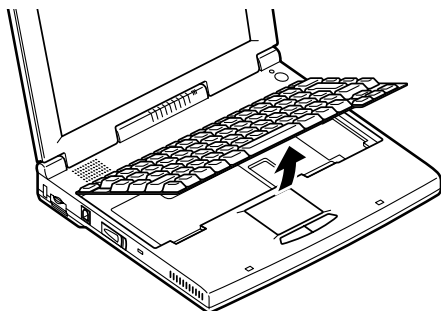
- 1** 本機の電源を切る
サスペンド状態やハイバネーション状態のときは、いったん本機を起動状態に戻してデータを保存してから、本機の電源を切ります。
- 2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、本機からACアダプタやケーブル類、ポートバー、ファイルベースをすべて取り外す
- 3** バッテリーパックを取り外す(p.8)
- 4** 図の位置のカバー2カ所を取り外す
キーを押しながら、キーとカバーのすきまにドライバなどを挿し込むようにして取り外します。



- 5** 図の2カ所のネジをプラスドライバで取り外す

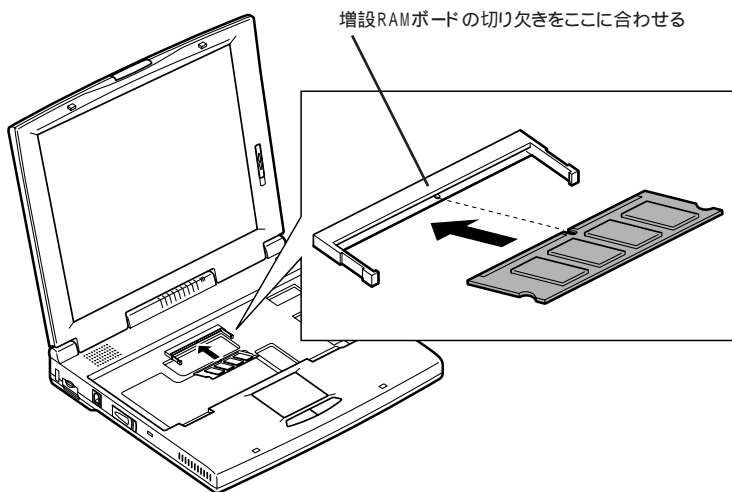


- 6** 右側のネジ止め部分のすきまにドライバなどを引っかけてキーボードを持ち上げ、奥側を軸にしてキーボードをゆっくりと起こす



- チェック!!**
- ・キーボードを起こすときは、キーの面を引っ張らないでください。
 - ・キーボードは、本機とケーブルで接続されています。ケーブルを破損しないよう注意してください。

- 7** 増設RAMボードの切り欠き部分を本機コネクタの突起部に合わせ、本機コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで挿入する



- 8** カチッと音がする位置まで増設RAMボードを本機コネクタに倒し込む

9 奥側を軸にしてキーボードをゆっくりと倒し、手順5で外したネジ2カ所を取り付ける

10 手順4で取り外したカバー2カ所を取り付ける

チェック!! カバーの形状は、左右で異なります。カバーの裏面に「R」または「L」の表示がありますので、右側には「R」、左側には「L」のカバーを取り付けてください。

11 バッテリーパックを取り付ける

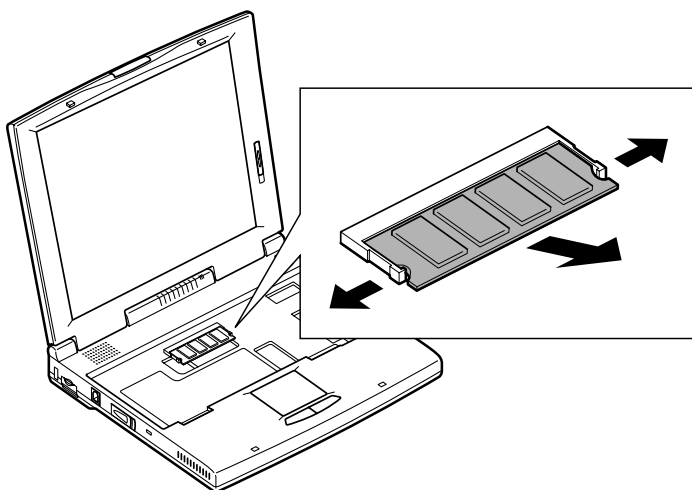
メモリ増設後は「増設したメモリ(RAM)の確認」に従って、増設が正常に行われたかどうか確認してください。

増設RAMボードの取り付けや取り外しを行ったときは、ハイパーネーション機能の再設定が必要となります(p.18)。

増設RAMボードの取り外し方

1 「増設RAMボードの取り付け方」の1～6の手順でキーボードを起こす

2 コネクタの両端を左右に押し広げながら、取り付けられているRAMボードを引き起こして取り外す



3 「増設RAMボードの取り付け方」の9～12の手順で、キーボードを元通りに取り付け、バッテリーパックを取り付ける

増設RAMボードの取り外しを行ったときは、ハイバネーション機能の再設定が必要となります(p.18)

増設したメモリ(RAM)の確認

増設が正常に行われ、メモリが本機に認識されているかどうかを確認できません。

1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

2 表示された「システムのプロパティ」の「情報」タブで確認する

メモリ容量が増えていない場合は、次のことを確認してください。

- ・ 増設RAMボードが正しく取り付けられているか
- ・ 本機で使用できる増設RAMボードを取り付けているか

その他の機器を使う

本機では、次のような別売の機器を使用することができます。

種類	機器
オーディオ機器	ヘッドホン、マイクロホン
入力装置	マウス、外付けキーボード、テンキーボード、デジタルカメラ、イメージスキャナーなど
通信機器	外付けモデム、ターミナルアダプタなど

本機のどのコネクタに機器を接続するかは、機器が使用しているインターフェイスによって異なります。また、機器によってインターフェイスが決まっている訳ではありません。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

シリアルコネクタ

シリアル対応機器を接続するためのコネクタです。一般的なコンピュータ用語ではこれをシリアルポートと呼び、WindowsではCOM1やCOM2の名称で呼ばれています。

パラレルコネクタ

別売のプリンタなどのパラレル機器を取り付けるためのコネクタです。パラレル対応機器であればプリンタ以外の機器も接続することができます。なお、WindowsではプリンタポートまたはLPT1と呼んでいます。

USBコネクタ

USB対応機器を取り付けるためのコネクタです。USBとはUniversal Serial Busの略称で、従来のシリアルポートよりはるかに高速なデータ転送が可能なインターフェイスです。USB対応機器は、コネクタの形状が統一されており、127台までの機器を接続できます。また、電源を切らずにプラグの抜き差しが可能で、プラグ&プレイ機能にも対応しています。

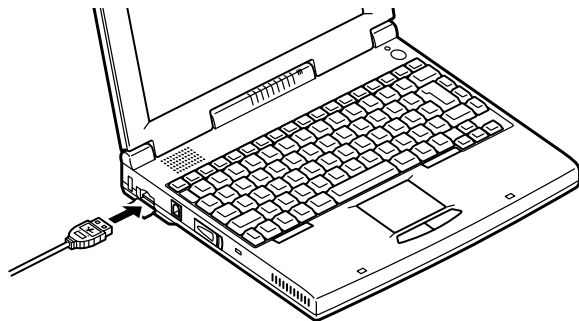
- ✓チェック!!** 「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「デバイスマネージャ」の画面にある「ユニバーサルシリアルコントローラ」の記述は、削除しないでください。

別売の外付けキーボードの接続

別売の外付けキーボードは、USBコネクタに取り付けます。

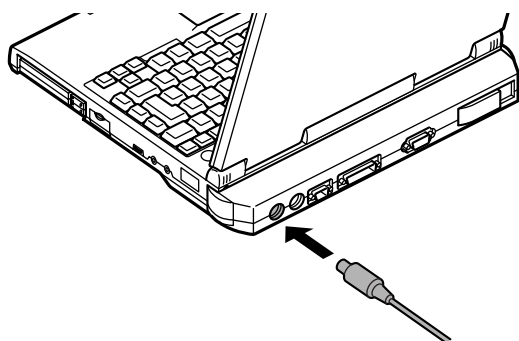
チェック!! Windows 95のSafeモードやMS-DOSモードで起動したときは、本機のキーボードを使用してください。外付けのキーボードを使うことはできません。

外付けキーボードの設定は、本機のキーボードと同じように、Windowsで設定することができます。



テンキーボード用コネクタ

別売のテンキーボードを取り付けるためのコネクタです。
このコネクタには、別売の外付けフルキーボードは取り付けられません。

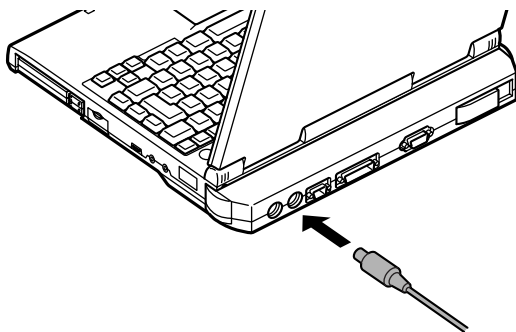


チェック!! 別売のテンキーボードの接続は、必ず本機の電源を切ってから行ってください。

マウス用コネクタ

別売のマウスを接続するためのコネクタです。

マウスの設定は、ポインティングデバイスと同じように、Windowsで設定することができます。



- チェック!!** ・別売のマウスの接続は、必ず本機の電源を切ってから行ってください。
- ・別売のマウスは、本機のポインティングデバイスと同時に使うことができます。別売のマウスだけを使いたいときは、BIOSセットアップユーティリティで設定してください(p.96)

PART

3

システムの設定

セキュリティや省電力など、本機のさまざまな使用環境を設定できるBIOS
セットアップユーティリティの使い方について説明しています。

このPARTの内容

BIOSセットアップユーティリティ

BIOS セットアップユーティリティ

BIOSセットアップユーティリティは、セキュリティ、省電力、周辺機器など、本機の使用環境を設定することができます。

BIOSセットアップユーティリティで設定できること

- ・ セキュリティ
パスワード、I/Oロックの設定
- ・ デバイス
通信、ポート、システムデバイスなどの設定
- ・ 省電力
パワーマネージメント、サスペンド、レジュームなどの設定
- ・ 起動
起動デバイスの起動優先順位の設定

- ✓チェック!!**
- ・ IDEデバイス(ハードディスク、CD-ROMドライブなど)のデバイスタイプやシリンダ数などは、通常は本機が自動的に認識し、設定しています。ユーザが手動で設定する必要がある場合は、電源を入れた直後に【F2】を押し、BIOSセットアップメニューを立ち上げて、設定を変更してください。
 - ・ BIOSセットアップユーティリティの設定を初期化する場合は、本機の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押します。キーの説明が表示されたら【F9】を押して、「F9:全ての設定値を出荷時の状態にして元に戻る」を選択します。
 - ・ BIOSセットアップユーティリティを使用中に「CMOSエラー」などが表示された場合は、BIOSセットアップユーティリティを上記の手順で初期値にしてから、再度BIOSセットアップユーティリティで設定を変更してください。
 - ・ BIOSセットアップユーティリティで変更した設定は、省電力の設定を除いて、本機の再起動後から有効となります。

BIOSセットアップユーティリティを使う


BIOSセットアップユーティリティを起動する

「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「BIOSセットアップユーティリティ」を選ぶ

「BIOSセットアップユーティリティ」が起動します。

BIOSセットアップユーティリティを操作する

- 1 「セットアップ」メニューをクリックし、設定したい項目をクリックする
ツールバーから設定したい項目のアイコンをクリックして設定画面を表示させることもできます。
- 2 設定画面が表示されたら、各項目の設定を変更する
各項目の設定の詳しい説明は、設定項目一覧をご覧ください。
- 3 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックする
- 4 更新するかどうかメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 5 設定したい項目をすべて設定したら、「ファイル」メニューをクリックして、「設定保存と再起動」または「アプリケーションの終了」をクリックする

 **チェック!!** BIOSセットアップユーティリティで設定した内容は、省電力の設定を除いて、本機の再起動後から有効となります。

各設定項目に関する詳しい説明は、ヘルプをご覧ください。


設定項目一覧

セキュリティの設定

メニューバーの「セットアップ」「セキュリティ」を選択するか、ツールバーのセキュリティアイコンをクリックして設定画面を開きます。

パスワード

項目名	選択肢	備考
ユーザーパスワード	設定値: 0 ~ 9 a ~ z A ~ Z	ユーザーパスワードを設定します。 この項目は、スーパーバイザーパスワードが設定されていないときは設定できません。
スーパーバイザーパスワード()	設定値: 0 ~ 9 a ~ z A ~ Z	スーパーバイザーパスワードを設定します。
パスワード確認タイミング()	セットアップ起動時 / システム・セットアップ起動時	BIOSセットアップユーティリティ起動時にのみパスワードを入力するか、または電源を入れたときやレジュームするときなどにも入力するか、といったパスワードの確認を行うタイミングを設定します。

 **チェック!!** スーパーバイザーパスワードが設定されているときに、ユーザーパスワードで起動すると、表中の()マークの付いている項目は、変更できなくなります。

・パスワードに使用できる文字

半角英字	a ~ z A ~ Z
半角数字	0 ~ 9
字数	6文字以内

・パスワードの設定方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。

「新しいパスワード」に設定したいパスワードを入力し、確認のため「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じように入力します(入力した文字は、*で表示されます)。

- ・パスワードの変更方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。

「古いパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力します。

確認のため「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じように入力します。

- ・パスワードの取り消し方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。

「古いパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」のボックスにカーソルを合わせてから【Enter】を押します。

**チェック!!**

- ・スーパーバイザーパスワードを設定せずに、ユーザーパスワードのみを設定することはできません。
- ・ユーザーパスワードを入力してBIOSセットアップユーティリティを起動したときには、「パスワード確認タイミング」の変更はできません。
- ・ユーザーパスワードを入力してBIOSセットアップユーティリティを起動したときには、「スーパーバイザーパスワード」の設定を変更することはできません。

I/Oロック

項目名	選択肢	備考
IDEインターフェース	ロックする / ロックしない	IDEインターフェースのI/Oをロックするかどうかを設定します。
シリアルポート(A)	ロックする / ロックしない	シリアルポートのI/Oをロックするかどうかを設定します。
赤外線ポート	ロックする / ロックしない	赤外線ポートのI/Oをロックするかどうかを設定します。
パラレルポート	ロックする / ロックしない	パラレルポートのI/Oをロックするかどうかを設定します。
サウンド機能	ロックする / ロックしない	サウンド機能のI/Oをロックするかどうかを設定します。

デバイスの設定

メニューバーの「セットアップ」「デバイス」を選択するか、ツールバーのデバイス関連のアイコンをクリックして設定画面を開きます。

「通信」では、シリアルポート(A)と赤外線ポートの設定ができます。

シリアルポート(A)

項目名	選択肢	備考
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ詳細設定が必要です。その他は自動設定されます。
COM番号	<ul style="list-style-type: none"> • COM 1 • COM 2 • COM 3 • COM 4 	COM番号を設定します。

割り込みは、次のように割り当てられます。

COM1:IRQ4、COM2:IRQ3、COM3:IRQ4、COM4:IRQ3

赤外線ポート

項目名	選択肢	備考
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ詳細設定が必要です。その他は自動設定されます。
COM 番号	<ul style="list-style-type: none"> • COM 2 • COM 3 • COM 4 	COM 番号を設定します。

割り込みは、次のように割り当てられます。
COM2:IRQ3、COM3:IRQ4、COM4:IRQ5

パラレルポート

項目名	選択肢	備考
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ詳細設定が必要でその他は自動設定されます。
LPT 番号	LPT1 / LPT2	LPTの番号を指定します。
モード	ECP / EPP / 双方向 / 出力のみ	出力モードを指定します。

サウンド

項目名	選択肢	備考
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ次の設定が必要です。その他は自動設定されます。
I/Oアドレス	220h / 240h / 260h / 280h	I/Oアドレスを設定します。
割り込みレベル設定	IRQ5 / IRQ7 / IRQ9 / IRQ10 / IRQ11	割り込みを「使用する」に設定した場合、ここで割り込みレベルを設定します。
DMA チャンネル	DMA # 0 / DMA # 1 / DMA # 3	DMAチャンネルを設定します。
フルデュプレクス DMA チャンネル	DMA # 0 / DMA # 1 / DMA # 3	フルデュプレクスモードで使用するDMAチャンネルを設定します。

キーボード

項目名	選択肢	備考
起動時のNum Lock	使用しない / 使用する	起動時にNum Lockするかどうかを設定します。

ポインティングデバイス

項目名	選択肢	備考
NXパッドインターフェース	使用しない / 使用する	内蔵のNXパッドを使用するかどうかを設定します。

ディスプレイ

項目名	選択肢	備考
LCD画面の伸縮	使用しない / 使用する	低解像度時に画面を拡大表示するかどうかを設定します。

「システムデバイス」では、次の「日付と時間」、「メモリ」、「カードスロット」についての設定または確認ができます。

日付と時刻

項目名	選択肢	備考
日付設定	-	日付を設定します。
時間設定	-	時間を設定します。

メモリ

項目名	選択肢	備考
総メモリ容量(KB)	-	総メモリ容量を確認できます。

カードスロット

項目名	選択肢	備考
カードスロット電源電圧	3.3V / 5V	PCカードスロットの電圧を選択します。





省電力の設定

メニューバーの「セットアップ」 「省電力」を選択するか、ツールバーの省電力アイコンをクリックして設定画面を開きます。

パワーマネージメント

項目名	選択肢	備考
パワーマネージメント	使用しない / 使用する	省電力(パワーマネージメント)機能を使用するかしないかを設定します。「使用する」を選択したときのみの以降の設定が可能になります。
設定方法	ユーザー設定 / 動作時間優先 / 動作性能優先	パワーマネージメントのタイプを選択します。「ユーザー設定」を選択した場合のみ、以降の項目を設定します。その他は自動設定されます。
スタンバイモード制御 / 開始時間	使用しない / 使用する スタンバイモード開始時間: 1分 / 2分 / 4分 / 6分 / 8分 / 10分 / 15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態になってから設定した時間が経過すると、自動的にスタンバイモードになります。
自動スリープ制御 / 開始時間	使用しない / 使用する 自動スリープ開始時間: 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 25分 / 30分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態で設定した時間が経過すると自動的にサスペンドまたはハイバネーションします。
HDD モータ制御 / 開始時間	使用しない / 使用する HDDモータ制御開始時間: 5秒 / 30秒 / 45秒 / 1分 / 2分 / 4分 / 6分 / 8分 / 10分 / 15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。ハードディスクにアクセスしない状態で設定した時間が経過すると、ハードディスクのモータを停止します。
画面制御 / 開始時間	使用しない / 使用する 画面制御開始時間: 30秒 / 45秒 / 1分 / 2分 / 4分 / 6分 / 8分 / 10分 / 15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態で設定した時間が経過すると、画面表示を停止します。
オーディオ制御	使用しない / 使用する	「使用する」を選択した場合、30秒後にオーディオ制御を開始します。
周辺機器インターフェース制御	使用しない / 使用する	省電力モードに応じて周辺機器への電源供給を制御するかどうかを設定します。
CPUスピード	100% / 50% / 25%	CPUスピードの設定を行います。

設定により、タスクバーのアイコンが次のように変わります。

ユーザー設定:  動作時間優先: 
動作性能優先:  フルパワー(パワーマネージメントを使用しない): 

パワーセーブ

項目名	選択肢	備考
バックライト制御	最大光量 / 通常光量 / 自動認識	バックライトの明るさを設定します。
AC電源時のパワーマネージメント	使用しない / 使用する	AC電源時にパワーマネージメントを有効にするか無効にするかを設定します。
バッテリー放電モード		

本機では設定できません。

スリープ

項目名	選択肢	選択肢
モード設定	サスペンド / ハイバネーション	サスペンドするか、ハイバネーションするかを選択します。
スリープボタン	使用しない / 使用する	本機のスリープボタンの機能を無効にするか有効にするかを設定します。
LCD連動スリープ	使用しない / 使用する	液晶ディスプレイの開閉によるサスペンド / レジューム、またはハイバネーションを使用するかどうかを設定します。

レジューム

項目名	選択肢	備考
モデム受信でレジューム	使用しない / 使用する	モデム経由でFAXなどの受信があった場合、レジュームするかどうかを設定します。
時刻指定でレジューム / レジューム時刻	使用しない / 使用する 「レジューム時刻」	指定した時刻にレジュームするかどうかを設定します。使用する場合はその時刻を入力します。

システムディスクの起動順位の設定

メニューバーの「セットアップ」「起動」を選択するか、ツールバーの起動アイコンをクリックして設定画面を開きます。

項目名	選択肢	備考
起動順位1~3	指定なし / ハードディスク / フロッピーディスク / CD-ROM	システムを起動するディスク装置の順番を指定します。起動順位1に指定したディスク装置から順番に起動します。

添付アプリケーションの 削除と追加

本機に添付のアプリケーションを使うとどんなことができるか、また、それらを本機から削除したり、追加したりする方法を説明しています。

このPARTの内容

添付アプリケーションの紹介
アプリケーションの削除と追加
インターネットエクスプローラ4.0
インターネットエクスプローラ関連プログラム
BIGLOBE Walker
PC-VANナビゲータ
AOL
NIFTY MANAGER
VirusScan
TELFAX-NX
IntelliSync97
プレーヤ-NX
CyberTrio-NX
CyberWarner-NX
英語モードフォントを利用する



添付アプリケーションの紹介

添付されている主なアプリケーションと本章の構成について説明します。

知っておきたい便利な機能とツール

機能	アプリケーション
インターネットを利用する 電子メールを送受信する	インターネットエクスプローラ BIGLOBE Walker(BIGLOBE専用) PC-VANナビゲータ(PC-VAN専用) AOL(AOL専用) NIFTY MANAGER(NIFTY専用)
インターネットの情報を管理する BIGLOBEへオンライン接続する	BIGLOBE Walker
PC-VANへオンラインで入会する	PC-VANナビゲータ
AOLへオンラインで入会する	AOL
NIFTYへオンラインで入会する	NIFTY MANAGER
オーディオ、ビデオなどを再生する	プレーヤ-NX
電話をかけたリ、FAXを送受信する	TELFAX-NX
赤外線 / シリアルケーブル接続して ファイルをシンク(同期)させる	IntelliSync97
コンピュータウイルスを検出して除去する	VirusScan
ユーザのスキルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定する	CyberTrio-NX
OSが必要とするファイルを保護する	CyberWarner-NX
海外製アプリケーションの文字表示を正しくする	英語モードフォント

このPARTの構成について

アプリケーションの起動、追加、削除の仕方について、アプリケーションごとに説明しています。アプリケーションによっては、ヘルプに詳しい説明がのっているものもあります。

- ・アプリケーションの起動方法
- ・アプリケーションの削除方法
- ・アプリケーションの追加方法

下記のアプリケーションについては、使い方も説明しています。

- ・ IntelliSync97

ヘルプについて

各アプリケーションにはオンラインヘルプがついています。

操作方法や機能などがわからないときにご覧ください。

ヘルプを起動するには、各アプリケーションのメニューバーの「ヘルプ」をクリックします。

アプリケーションの削除と追加

アプリケーションの削除と追加に関する注意事項を説明します。

削除について

本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除の手順を説明します。


✓チェック!! 削除する場合は、必要でないことをよくご確認の上、削除してください。

- ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
- ・ハードディスクの空き容量を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き容量を増やすことができます。
- ・一部のアプリケーションでは、「削除の準備」を行ってから削除します。
- ・アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備」を行ってから削除します。
- ・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、次の手順を行ってください。CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。
- 2 「セットアップと削除」を選択する

-  **チェック!!** ・削除したとき、アプリケーションによってはディレクトリやデスクトップ、スタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2 「表示」 「オプション」をクリックする
- 3 「表示」タブの「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示」を選択する
- 4 「OK」ボタンをクリックする
このあと、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

追加について

次のような場合に、本機にアプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを本機に追加する場合
- ・本機に標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・一部のアプリケーションでは、次の「プロダクトの選択」を行ってから再追加します。

プロダクトの選択

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、次の手順を行ってください。

各アプリケーションのCD-ROMを使用する場合は必要ありません。

- 1** 本機のCD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン、「設定」、「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「セットアップと削除」を選択する
- 4** 「セットアップ」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」を起動する
- 5** 「次へ」をクリックする
- 6** 「セットアッププログラムの実行」の「セットアッププログラムのコマンドライン」に「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」と入力する

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
 Q: ¥NSETUP.EXE

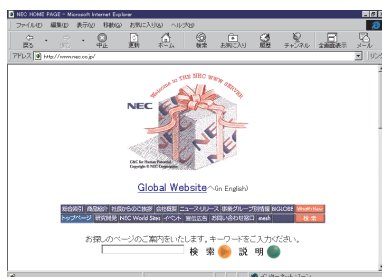
- 7** 「完了」をクリックする。
「プロダクトの選択」が表示されます。

インターネットエクスプローラ 4.0

インターネット上のホームページを見るための「ブラウザ」と呼ばれるアプリケーションです。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Internet Explorer」の「Internet Explorer」をクリックする



削除

- 1 インターネットエクスプローラ4.0を削除する前に、「ごみ箱」の中の書類を削除してもよいか確認する
デスクトップ上の「ごみ箱」を開いて、保存したい項目があれば、別の場所へ移動してください。
- 2 「削除の準備」(p.104)の手順1～2を行う
- 3 「セットアップと削除」ウィンドウの一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする

4 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0とそのすべてのコンポーネントをアンインストールする」にチェックを付け、「詳細」ボタンをクリックする

5 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0と次のコンポーネントをアンインストールする」にチェックを付け、さらに次のコンポーネントにチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリックする

Microsoft Font Page Express

Microsoft Music Control

Microsoft NetMeeting 2.0

Microsoft Outlook Express

Microsoft VM for Java

Microsoft Web発行ウィザード 1.5

VDOLive Player

6 「Microsoft Internet Explorer 4.0セットアップ メンテナンス プログラムを始めます」のメッセージの後に、「Internet Explorer 4.0と共有コンポーネントを削除するには、「OK」ボタンをクリックする

7 「Microsoft Internet Explorer 4.0を削除しますか?」という画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

「Internet Explorer 4.0により、ごみ箱の形式が変更されました。」と表示されることがあります。現在ごみ箱に入っている項目を保存する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックして削除処理を終了し、手順1からやり直してください。

ごみ箱に入っている項目をすべて削除してもよい場合は、「OK」ボタンをクリックして削除処理を続けます。

削除が始まります。削除には数分かかります。

- 8** 「すべてのアプリケーションを閉じて、新しい設定でWindowsを再起動します」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されることがあります。このとき、実行中のプログラムでデータを処理しているものがある場合は、それらのデータを保存してプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 9** 「コンピュータを再起動する必要があります」という画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
自動的に本機が再起動します。
- 10** 「ユーザ名とパスワードを入力してください」という画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力する
- 11** 次のメッセージが表示された場合は、必要に応じて「はい」ボタンか「いいえ」ボタンをクリックする

通常ActiveMovieに関連付けられるファイルの種類の中に、現在ほかのプログラムに関連付けられているものがあります。そのため、マルチメディアのファイルの種類によっては、再生されないものがある可能性があります

ファイルの種類をActiveMovieに関連付け、すべて再生できるようにしますか？

- 12** 次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の個人設定を削除するよう表示されたら、必要に応じて「はい」ボタンか「いいえ」ボタンをクリックする

Microsoft Internet Explorer 4.0

Windowsデスクトップのアップデートコンポーネント

インターネット接続ウィザード

Microsoft NetMeeting 2.0

Microsoft Outlook Express

VDOLive Player

Microsoft Front page Express

- 1 「プロダクトの選択」(p.106)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」画面で「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「セットアップの開始」メッセージが表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書が表示されます。
- 4 よく読んでから、同意する場合は「同意する」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「インストールオプション」で「最小インストール」「標準インストール」「完全インストール」からインストール方法を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 デスクトップのアップデートで「インストールしますか?」と表示されたら、「はい」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「Active Channelの選択」で「日本」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「インストール先フォルダ」で、インストール先を指定する

購入時と同じフォルダにインストールする場合

「参照」ボタンをクリックして、「フォルダの参照」画面を表示させ、次のフォルダを選んでから「次へ」ボタンをクリックしてください。

C:¥Program Files¥Internet Explorer

購入時とは別のフォルダにインストールする場合

すでに存在するフォルダにインストールするときは、「参照」をクリックして、「フォルダの参照」画面を表示させ、インストールしたいフォルダを選択してから「OK」ボタンをクリックしてください。新規にフォルダを作成する場合は、インストールフォルダに直接フォルダ名を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。「フォルダを作成しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてください。

9 「新しいコンポーネントをアップグレードしますか?」と表示されたら、「すべてのコンポーネントを再インストール」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする
インストールが始まります。インストールには10数分かかります。

10 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** ここでは、まだCD-ROMは取り出さないでください。

「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されることがあります。このとき、実行中のプログラムでデータを処理しているものがある場合は、それらのデータを保存してプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリックしてください。

11 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
自動的に本機が再起動します

12 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合、ユーザ名とパスワードを入力する
Internet Explorer 4.0関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。この間、数分かかります。

13 セットアップ完了後、CD-ROMを取り出す



インターネットエクスプローラ関連プログラム

Microsoft Chat 2.0

削除

- 1 「削除の準備」(p.104)の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」ウィンドウの一覧から「Microsoft Chat 2.0」を選択し「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Chat 2.0を削除します。Microsoft Chatのアプリケーションが実行されていないことを確認してください。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 4 「Microsoft Chat 2.0は正常に削除されました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

Microsoft Chat 2.0は、「インターネットエクスプローラ4.0の追加」と同じ手順 (p.XX)で追加することができます。

Microsoft NetShow プレーヤー

削除

- 1 「削除の準備」(p.104)の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」ウィンドウの一覧から「Microsoft NetShow プレーヤー」を選択し「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「Microsoft NetShow プレーヤーをアンインストールしますか?」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 4 「Microsoft NetShow プレーヤーは正常に削除されました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

Microsoft NetShow プレーヤーは、「インターネットエクスプローラ4.0の追加」と同じ手順で追加することができます。

RealPlayer 4.0

削除

- 1 「削除の準備 (p.104)の手順1~2を行う
- 2 「セットアップと削除」ウィンドウの一覧から「RealPlayer 4.0」を選択し「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「RealPlayer 4.0のすべてのコンポーネントを削除してもよろしいですか?」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 4 「RealPlayer 4.0のアンインストールが完了しました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

RealPlayer 4.0は、「インターネットエクスプローラ4.0の追加」と同じ手順で追加することができます。



BIGLOBE Walker

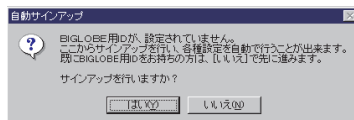
BIGLOBEのサービス(インターネットのネットサーフィン、電子メールの送受信、PC-VANの利用など)、NECパーソナルメディアサービス(BIGLOBE:ビッグロープ)への入会手続きをするためのアプリケーションです。

BIGLOBEを利用するには、BIGLOBEのIDが必要です。IDは入会申込すると取得できます。

起動

1 「スタート」ボタン「プログラム」「Biglobe」の「BIGLOBE Walker」をクリックする

初回起動時、またはBIGLOBE用のIDが設定されていない場合は、「自動サインアップ」画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。



削除

1 「削除の準備」(p.104)の手順1~2を行う

2 「セットアップと削除」の一覧から「BIGLOBE」をクリックして「追加と削除」をクリックする

3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。

4 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

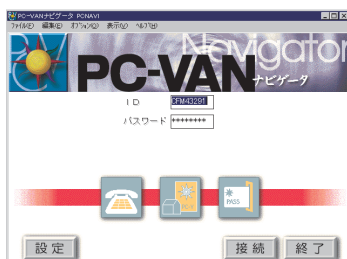
- 1** 「プロダクトの選択」(p.106)の手順1~7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「BIGLOBE Walker」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」の表示で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「BIGLOBE Walkerのインストールを開始します。よろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 6** 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

PC-VAN ナビゲータ

パソコン通信サービス「PC-VAN」に接続し、さまざまなサービスを利用できます。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「PC-VANナビゲータ」で「PC-VANナビゲータ」をクリックする



削除

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「PC-VANナビゲータ」で「PC-VANナビゲータアンインストーラ」をクリックする
- 2 表示されたウィンドウで「プログラムだけ削除」を選択し、「OK」ボタンをクリックする

チェック!! 「すべて削除」を選択すると、設定ファイルやアドレス帳なども削除されますので、ご注意ください。

- 3 「PC-VANナビゲータのプログラムファイルを削除します」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

- 4** 「ファイルを削除しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
「すべて削除」を選択した場合でも、メールフォルダやダウンロードしたファイルが一部残ります。これらのファイルを削除する場合は「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「C:¥PCNAVI」にあるファイルを削除してください。

アイコンの削除

「スタート」ボタン「プログラム」に「PC-VANナビゲータ」のアイコンが残ったときは、次のフォルダとファイルを削除してください。

C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある「PC-VANナビゲータ」フォルダとフォルダ内のすべてのファイル

追加

- 1** 「プロダクトの選択」(p.106)の手順1~7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「PC-VANナビゲータ」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「他のアプリケーションを終了してからインストールをして下さい」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「PC-VANナビゲータインストール」で「インストール」をクリックする
- 5** 表示されたウィンドウを確認して「OK」ボタンをクリックする
「ディレクトリの作成」が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 6** 「PC-VANナビゲータ登録」で「はい」ボタンをクリックする
- 7** 「インストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

AOL

アメリカのパソコン通信サービス「AOL(アメリカ・オンライン)」を利用するためのアプリケーションです。

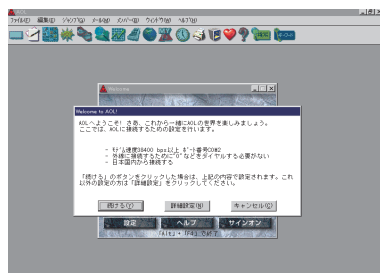
AOLはパソコン通信だけでなく、インターネットも利用できます。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「AOL」の「AOLの世界へようこそ!」をクリックする

使用方法は、本機添付の『AOLハンドブック』をご覧ください。

- ✓チェック!!** 登録後1か月の間、最初の50時間はすべてのサービスを無料で利用できます。フリーアクセス時間(50時間)を越えたり、フリーアクセス期間(登録後1か月)を越えると、課金が始まりますのでご注意ください。




削除

- 1 「削除の準備 (p.104)」の手順1~2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「AOL」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「AOL for Windowsアンインストーラー」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
AOLが複数インストールされている場合は「標準モード」のチェックマークを外してください。

- 4 「アンインストールするAOLのディレクトリ」の表示で「OK」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 5 「AOLの削除は正常に終了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6 「再起動しますか?」のメッセージが表示された場合は、「再起動」ボタンをクリックして再起動します。

追加

- 1 「プロダクトの選択 (p.106)の手順1~7を行う
- 2 プロダクトの選択」で「AOL」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「AOLセットアッププログラムへようこそ」というメッセージが表示されたら「開始」ボタンをクリックする
モデムが接続されていない場合、「モデムが見つかりませんでした。」のメッセージが表示されます。モデム接続を行わない場合は、「設定中止」をクリックして先に進んでください。
- 4 「インストール」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 5 「AOLのショートカットを作成します」ウィンドウが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「お疲れさまでした。」ウィンドウが表示されたら、このままAOLを起動するときは「OK」ボタンをクリックし、起動しないときは右上のをクリックする

NIFTY MANAGER

パソコン通信サービス「NIFTY SERVE」に接続し、さまざまなサービスを利用できます。

参照 「NIFTY SERVE」への入会手続きについて 『ニフティ サーブ イントロパック』

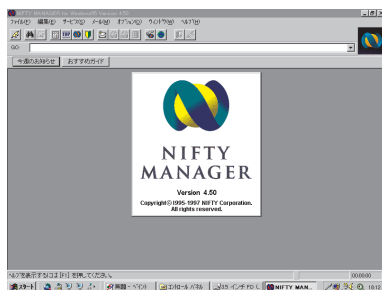
起動

「NIFTY SERVEサインアップ」の起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「NIFTY MANAGER」の「NIFTY SERVEサインアップ」をクリックする

「NIFTY MANAGER」の起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「NIFTY MANAGER」の「NIFTY MANAGER」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備」(p.104)の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「NIFTY MANAGER for Windows 95 Ver4.50」をクリックして「追加と削除」をクリックする

- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」の画面が表示された場合は「すべていいえ」を選んでください。
- 4 「プログラムのコンピュータからの削除」でアンインストールの完了を確認して、「OK」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択 (p.106) の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「NIFTY MANAGER for Windows 95」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」をクリックする
- 4 利用規約が表示されるので、よく読んでから、同意する場合は「はい」をクリックする
- 5 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「情報を引き継ぎますか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 7 「デスクトップにNIFTY MANAGER for Windows 95のショートカットを置きますか?」と表示されたら、デスクトップにショートカットを作成する場合「はい」ボタンを、作成しない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
「NIFTY MANAGERデータベースへのアクセスするための環境を設定中です。」と表示されます。

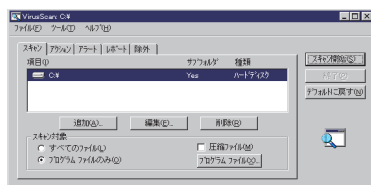
- 8** 「READMEファイルを読みますか?」と表示されたら、読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックする
README ファイルは、メモ帳で表示されます。README ファイルを読み終わったあと、メモ帳を終了し、画面上のウィンドウを最小化して、次のようなメッセージを表示させてください。
- 9** 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 10** 「HyperROADに接続するための、ダイヤルアップネットワークの設定を行いますか?」と表示されたら、「いいえ」をクリックする
インターネット接続に必要な通信設定は、添付の『ニフティ サーブ イントロパック』をご覧になり、セットアップ完了後に行ってください。
- 11** コンピュータを再起動する

VirusScan

コンピュータウィルスの検出、識別、および除去を行います。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「VirusScan」をクリックする



ウィルス監視機能を有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウィルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

- ✓チェック!!** ウィルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウィルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「VirusScanコンソール」をクリックする
VirusScan Consoleが起動します。
- 2 一覧に表示されている「McAfee VShield」をクリックした後、メニューバーの「タスク」 「プロパティ」をクリックする
「タスクプロパティ」が起動します。
- 3 「タスクプロパティ」の「プログラム」タブの「詳細設定」ボタンをクリックする
VShield設定が起動します。
- 4 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックし、チェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

- 5 「今すぐ読み込みを行いますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 7 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

ウイルス監視機能を解除する

- 1 「ウイルス監視機能を有効にする」の手順1～3を行う
VShield設定が起動します。
- 2 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックし、チェックマークを消し、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「今すぐ読み込みを解除しますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 4 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 5 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

削除

- 1 「削除の準備 (p.104)」の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v3.1.0 (プレインストール版)」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「VirusScanの削除が選択されました。本当にVirusScanを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4 「削除後にシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が前面に表示されたときは「OK」ボタンをクリックし、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を終了します。
- 5 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」の画面が表示されたときは、「すべていいえ」を選んでください。
- 6 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7 コンピュータを再起動する

追加

- 1 「プロダクトの選択 (p .106)の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「VirusScan」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
セットアッププログラムが起動し、「McAfeeソフトウェアの使用許諾契約書」ウインドウが表示されます。
- 3 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリックする
- 4 「セットアップへようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

- 5 「セットアップ方法」で「カスタム」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウインドウの「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 6 「コンポーネントの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「オプションの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「DOSスキャナ インストール オプション選択」画面で、「ブート時にシステムをスキャン」と「エマージェンシーディスクを作成」のチェックマークを外し、「次へ」ボタンをクリックする
「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。
エマージェンシーディスクは、「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「エマージェンシーディスク作成」をクリックして作成することができます。
- 9 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「インストール設定の確認」で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 11 「システム領域のスキャンが完了しました」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 12 「この製品についての最新の情報を表示しますか？」のメッセージが表示されるので、このまま最新の情報を読む場合は「はい」ボタンをクリックし、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
最新の情報は「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「ウイルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

- 13** インストールが終了すると、「インストールが完了しました」ウィンドウが表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックする
Windows 95が再起動します。
- 14** Windows 95再起動後、「ウイルス監視機能を解除する」(p.124)の手順1～5を行う
ウイルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

TELFAX-NX

パソコンからFAXを送信したり、電話をかけることができます。

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「TELFAX-NX」 「TELFAX-NX」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備」(p.104)の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「TELFAX-NX」をクリックし「追加と削除」をクリックする
- 3 「ファイル削除の確認」が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
アプリケーションの削除が始まります。
- 4 途中で「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら、アドレス帳を削除する場合は「すべてはい」を、アドレス帳を削除したくない場合は「すべていいえ」をクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

- 1** 「プロダクトの選択」(p.106)の手順1から7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「TELFAX-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「インストールを行う前に」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「ユーザ情報の設定」の各項目を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「情報の一覧」で、入力した情報を確認して、「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 6** 「再起動しますか?」と表示されたら「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選んで、「OK」ボタンをクリックする

Intel iSync97

ケーブル接続や赤外線接続を通して、パソコン間でファイルのやりとりを簡単に行うことができます。詳しくは「操作方法」をご覧ください。

起動

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「Intel iSync 97 for Windows」の「Intel iSync 97エージェント」をクリックする
- 2 「Intel iSync 97 for Windowsへようこそ」の画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックする
「Intel iSync 97ランチャー」が表示されます。



ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

- 1 Intel iSync97ランチャーを起動する
- 2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

✓チェック!! 初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

- 3 「ローカルデバイス」をクリックし、デバイスを選択する
デバイスの詳細は「接続設定」をご覧ください。
- 4 「プロパティ」をクリックする
- 5 「プロパティ」のウィンドウで「接続可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする

接続設定

パソコン間を赤外線、シリアルポートで接続できます。

赤外線 (IR) 接続

本機には、赤外線デバイスが内蔵されているので、接続する必要はありません。手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、次の手順で設定してください。

- 1 COMポートに赤外線デバイスを接続する
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。
- 2 二つのシステムの赤外線ポート(IRポート)が向かい合うようにパソコンを設置する

参照 設置時の注意 「PART1 赤外線通信機能」(p.53)

- 3 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 4 「赤外線デバイス」を右クリックする
- 5 「IRウィザード」をクリックする
- 6 現在の設定が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 デバイスのリストから使用するデバイスを選ぶ
本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、「NEC FIR port model 01」を選んでください。
一覧にない場合は「Generic」を選んでください。
- 8 ポートのリストから赤外線デバイスが接続されているCOMポートを選び、「次へ」ボタンをクリックする
ポートが一つの場合、表示されません。

- 9 ボーレートの一覧が表示されたら、ボーレートを選び、「次へ」ボタンをクリックする
ボーレートが一つの場合、表示されません。
- 10 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする
- 11 「IR セットアップウィザード」の画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックする

シリアルケーブル接続方法

使用するパソコン両方に同じ設定をします。






- 1 COMポート(シリアルポート)にシリアルケーブルを接続する
ケーブルの長さは6m以下にしてください。
- 2 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 3 シリアルケーブルの+をクリックする
- 4 COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする
- 5 「接続を可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする

接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

- 1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

- 2** 接続状態をチェックしたいデバイスの + をクリックする
表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されてない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

操作方法

ファイル / PIMのシンク

- 1** IntelliSync97ランチャーを起動し、「シンク」をクリックする
- 2** 「新規ジョブの作成」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「次へ」ボタンをクリックする
- 4** ジョブを選ぶ
 - 2台のパソコン間でシンクする場合
「リモートジョブ」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
 - 1台のパソコン内で別々のドライブなどをシンクする場合
「ローカルジョブ」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

5 タイプを選択する

「フォルダ」や「ドライブ」をシンクさせる場合

「ファイルのシンク」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

PIM(パーソナルインフォメーションマネージャ)間でシンクさせる場合

「PIMのシンク」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

6 ウィンドウの指示で情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

7 ジョブ名をつけて、「次へ」ボタンをクリックする

「オートシンクの始動」を選ぶと、IntelliSync97のシンクを起動、またはIntelliSync97を起動し、パソコンどうしを接続するたびに自動的にジョブを実行します。

8 「完了」ボタンをクリックする

削除

1 「削除の準備 (p.104)の手順1~2を行う

2 「セットアップと削除」の一覧から「IntelliSync97 for Windows 1.0」をクリックし「追加と削除」をクリックする。

3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」をクリックし、「共有ファイル削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする 削除が始まります。

4 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

以下の操作を行う場合は、「赤外線通信機能 (p.52)の「赤外線通信機能を使えるようにする」を行ってください。

- 1** 「プロダクトの選択 (p.106)の手順1~7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「IntelliSync97 for Windows 1.0」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「OEM ディスク」で「参照」ボタンをクリックし、パスに「<CD-ROMドライブ名>:¥197TMP¥OEM_Diskette」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
- 7** 「スタートアップグループオプション」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 8** 「セットアップ」で「はい」ボタンをクリックする
- 9** 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「赤外線の設定-デバイスの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11** 「赤外線の設定-ボーレートの選択」で「4000000」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 12** 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「完了」ボタンをクリックする
- 13** 「IRセットアップウィザード」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

プレーヤ -NX

オーディオCD、ビデオCD、カラオケCD、フォトCDを再生表示します。

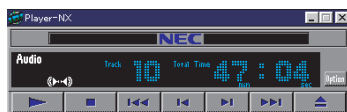
プレーヤ-NXで利用できるCD

- ・音楽(オーディオCD)
- ・ビデオCD(Ver1.1)、ビデオ(Ver2.0) /カラオケCD(Ver1.1)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

起動

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「マルチメディア」で「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリックする

オーディオCDの場合



ビデオCDの場合




フォトCDの場合



削除

- 1 「削除の準備」(p.104)の手順1~2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。

 **チェック!!** 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.106)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Folder Selection」で「次へ」ボタンをクリックするインストールが始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする



CyberTrio-NX

ユーザのスキルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定することができます。

CyberTrio-NXの機能

CyberTrio-NXは、Windows 95の利用環境を設定するアプリケーションです。ユーザのスキルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうようなユーザの操作を未然に防ぐことができます。

次の3つのモードから選ぶことができます。

- ・カスタムモード

「スタート」ボタン「プログラム」に登録してあるアプリケーションのみを使うことができます。

- ・ベーシックモード

システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。

- ・アドバンスモード

Windows 95へのフルアクセスが可能です。

出荷時には、本機はアドバンスモードに設定されています。

モードの変更

1 「スタート」ボタン「プログラム」「CyberTrio-NX」でモードを選ぶ

カスタムモードにする場合

「Go Toカスタムモード」をクリックする

ベーシックモードにする場合

「Go Toベーシックモード」をクリックする

アドバンスモードにする場合

「Go Toアドバンスモード」をクリックする

「スタート」ボタン「プログラム」「CyberTrio-NX」「CyberTrio-NXメニュー」をクリックしてから、各モードを選ぶこともできます。

CyberTrio-NXで行う設定

設定できる項目には、パスワードの設定や利用できる環境(ディスプレイの背景やサウンドなど)の設定があります。


ここではカスタムモードで、パスワードを設定する方法について説明します。

パスワードの設定

パスワードを設定することで、パスワードを知らない人がカスタムモードを勝手に別のモードに変更するのを防ぎます。パスワードは、8文字内の英数字で設定可能です。

パスワードは「ベーシックモード」または「アドバンスモード」で設定できます。

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「CyberTrio-NX」「カスタムモードの設定」「動作設定」をクリックする
「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「パスワードの設定」タブをクリックし、「パスワードを設定する」をチェックする
- 3 パスワードを入力する
パスワードは、8文字内の英数字で入力します。
- 4 パスワードの確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 入力したパスワードは忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてしまった場合は、次のパスワードを入力し、「ベーシックモード」か「アドバンスモード」に設定してから、もう一度パスワードを設定し直してください。

緊急用パスワード : 71709981

- 5 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウの「バックグラウンド」タブをクリックし、「背景」の欄で使用するディスプレイの背景をクリックする
- 7 「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウの「サウンド」タブをクリックし、「サウンド」の欄で使用するサウンドタイプをクリックする

- 8 「OK」ボタンをクリックする
「カスタムプログラム」ウィンドウが表示されます。
- 9 カスタムモードを使うユーザが操作できるアプリケーションを選ぶ
- 10 「閉じる」ボタンをクリックする

削除

- 1 「削除の準備」(p.104)の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「CyberTrio-NX」をクリックし、「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。
- 4 「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.106)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberTrio-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「CyberTrio-NX」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 4 「Select Destination Directory」画面で「OK」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、表示された画面にインストール先を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 5 「Install」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
再起動します。



CyberWarner -NX

OSが必要とするファイルを保護します。

Windows 95の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更を行おうとすると警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。「CyberWarner -NX」は起動時に常駐するアプリケーションです。

CyberWarner -NXを常駐させる

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「CyberWarner」アイコンをクリックする
- 2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする


CyberWarner -NXの常駐を終了する

- 1 シストレイに表示されている「CyberWarner -NX」アイコンをクリックする
- 2 終了を選ぶ
- 3 「CyberWarner -NXの終了」の画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックする

ログファイルについて

CyberWarner -NX LogViewer

ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner -NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner -NX LogViewerを使います。

-  **チェック!!** 採取されたログファイルは、CyberWarner -NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。

ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイル进行操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

Critical File

次のファイル进行操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat
¥config.sys
¥msdos.sys
¥windows¥command¥*. *
¥windows¥system¥*. dll
¥windows¥system¥*. vxd

Non Critical File

次のファイル进行操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧元の状態に戻ります。

¥command.com	¥windows¥rundll.exe
¥io.sys	¥windows¥rundll32.exe
¥himem.sys	¥windows¥progman.exe
¥windows¥win.com	¥windows¥control.exe
¥windows¥notepad.exe	¥windows¥winfile.exe
¥windows¥regedit.exe	¥windows¥taskman.exe
¥windows¥explorer.exe	¥windows¥azttnp.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*. *	¥windows¥winsock.dll
¥windows¥command.com	¥windows¥system.dat
¥windows¥himem.sys	¥windows¥user.dat
¥windows¥system¥sysedit.exe	
¥windows¥system¥iosubsys¥*. *	

Special

次のファイルを操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini

¥windows¥system.ini

削除

- 1 タスクバーにある「CyberWarner-NX」アイコンをクリックし、「終了」ボタンをクリックする
- 2 「CyberWarner-NXの終了」ウィンドウで「はい」ボタンをクリックする
- 3 「削除の準備」(p.104)の手順1～2を行う
- 4 「セットアップと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」をクリックする
- 5 「CyberWarner-NX Uninstall」の画面が表示されたら、「Yes」ボタンをクリックする
- 6 「Install」ウィンドウが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする再起動が始まります。

追加

- 1 「プロダクトの選択」(p.106)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberWarner-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Install」の画面が表示されたら、「Yes」ボタンをクリックする
「Select Destination Directory」画面が表示されます。

4 「CyberWarner -NX」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

5 本機を再起動する

英語モードフォントを利用する

海外製Windows 95アプリケーションを日本語版Windows 95で使用する場合、文字が正しく表示されません。文字モードを変換する必要があります。

日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 95アプリケーションを利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントを使用したまま、本機で日本語版Windows 95のアプリケーションを利用する場合、「㊤」「ヨ」「¥」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えます。

それぞれのモードでの表示状態については、次のとおりです。

	海外製Windows 95 アプリケーションを使用	日本語版Windows 95 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」「㊤」「®」「ヨ」 「\」「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「㊤」「©」「ヨ」「®」 「\」「¥」

英語モードフォントへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをクリックする
- 2 「ファイル」の「新しいフォントのインストール」を選択する
- 3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 4 「フォントの追加」の「ドライブ」に、「アプリケーションCD-ROM」をセットしたドライブ(通常はQ:)を指定する
- 5 「フォルダ」にQ: ¥USFONTを指定する

- 6 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」が表示されたら「すべてを選択」をクリックし「OK」をクリックする

日本語モードへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをクリックする
- 2 「フォント」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」(短く表示されることもあります)を選択し「ファイル」の「削除」を選ぶ
- 3 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」をクリックする

PART

5

他のOSを使う

ここでは、本機でWindows NT 4.0を使うための、セットアップについて説明しています。

このPARTの内容

Windows NT 4.0を使う



Windows NT 4.0を使う

本機でWindows NT 4.0をセットアップするには、次の手順で行います。

1. Windows NT 4.0のセットアップ
 - 1-1. 「Windows NT 4.0アップデートディスク」を作成する
 - 1-2. Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項
 - 1-3. Windows NT 4.0をセットアップする
 - 1-4. ドライバをアップデートする
2. 内蔵アクセラレータの利用
3. 内蔵サウンドの利用
4. NXパッドの拡張
5. 内蔵FAXモデムのセットアップ
6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ
7. Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3」の利用



チェック!!

- ・ドライバのアップデートはシステム管理者が行ってください。
- ・本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
- ・Windows NT Server 4.0は使用できません。
- ・Windows NT 4.0は、USB機器をサポートしていません。
- ・ここでは、Windows 95がインストールされているドライブをCドライブ、フロッピーディスクドライブをAドライブとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。
- ・セットアップの前に、1.44Mバイトフォーマット済みのフロッピーディスクを4枚用意し、それぞれのラベルに「システム修復ディスク」Windows NT 4.0アップデートディスク1」Windows NT 4.0アップデートディスク2」Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」と記入しておいてください。

1. Windows NT 4.0のセットアップ

1-1.「Windows NT 4.0アップデートディスク」を作成する

ここでは、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」と「Windows NT 4.0アップデートディスク2」「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」を作成します。

内蔵ハードディスクには、Windows NT 4.0のドライバがコピーされています。これらのドライバを、次の手順でフロッピーディスクにコピーします。

- 1 MS-DOS プロンプトを起動する
Windows 95の「スタート」「プログラム」「MS-DOSプロンプト」。
- 2 用意した「Windows NT 4.0アップデートディスク1」のラベルのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 MS-DOS プロンプトから次のように入力する
C:【Enter】
CD ¥NT40【Enter】
- 4 カレントディレクトリが「NT40」であることを確認し、MS-DOS プロンプトから次のように入力する
このとき、フロッピーディスクのドライブ名にコロン「:」は付けないでください。
CDNTUP A【Enter】
- 5 画面の表示に従ってファイルをコピーする


作成したフロッピーディスクは、今後Windows NT 4.0をセットアップする際に必要となりますので、大切に保管してください。

1-2.Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項

本機にWindows NT 4.0を新規に組み込む場合は、セットアップ前に「Windows NT 4.0アップデートディスク1」のルートディレクトリに格納された「README.TXT」を必ずお読みください。

1-3. Windows NT 4.0をセットアップする

特別な手順は必要ありませんので、Windows NT 4.0のマニュアルをご覧になり、Windows NT 4.0のセットアップを行ってください。

-  **チェック!!** 内蔵FAXモデムを使用するリモートアクセスサービスの設定は、Windows NT 4.0のセットアップ時ではなく、内蔵FAXモデムのセットアップ終了後に行ってください。

1-4. ドライバをアップデートする

次の手順でドライバのアップデートをします。

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「コマンドプロンプト」をクリックして、「コマンドプロンプト」をクリックする
- 2 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 Windows NT 4.0のコマンドプロンプトから次のように入力する
A:【Enter】
CD ¥【Enter】

カレントディレクトリがAドライブのルートディレクトリであることを確認して、次のように入力する。
UPDATE【Enter】
- 4 画面に表示されるメッセージ内容をよく確認しながら、画面の指示に従う

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了しました。アップデートしたドライバは再起動後に有効になります。

2. 内蔵アクセラレータの利用

次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリックし、コントロールパネルを開く
- 2 「画面」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ディスプレイの設定」タブをクリックする
- 4 「ディスプレイの種類」をクリックする
- 5 「変更」ボタンをクリックする
- 6 「ディスク使用」をクリックする
- 7 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、フロッピーディスクを入れたドライブのNMG4ディレクトリを指定して(A: ¥NMG4) 「OK」ボタンをクリックする
- 8 「ディスプレイ」リストボックスから、「NeoMagic MagicGraph 128 ZV+/XD」を選択する
- 9 「OK」ボタンをクリックする
- 10 「サードパーティドライバをインストールしようとしています。」のメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
- 11 このあとは画面に表示されるメッセージに従って操作する

3. 内蔵サウンドの利用

次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリックしてコントロールパネルを開き、「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする

- 2 「デバイス」タブをクリックする
- 3 「追加」ボタンをクリックする
- 4 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 5 ドライバのインストール画面になったら、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 6 フロッピーディスクドライブ名とディレクトリ名を指定して(A: ¥ ESS \)「OK」ボタンをクリックする
- 7 ドライバの一覧に「ES1879/1869/1878/1868/1887/1888 AudioDrive 2」が選択されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックする
- 8 再起動に関するメッセージが表示されるので、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、「再起動する」ボタンをクリックしてWindows NTを再起動させる
再起動後にドライバが有効になります。

4. NXパッドの拡張

NXパッド対応の拡張ドライバを利用することにより、オートジャンプ、タッピングなど、NXパッドの機能を拡張することができます。


次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリックし、コントロールパネルを開く
- 2 「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 3 「全般」タブをクリックする
- 4 「変更」ボタンをクリックする
- 5 「デバイスの選択」ウィンドウで、「ディスク使用」をクリックする

- 6 ドライバのインストール画面になったら、「Windows NT 4.0 アップデートディスク2」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 7 フロッピーディスクドライブ名とSLIDEPADディレクトリを指定して(A:¥SLIDEPAD)「OK」ボタンをクリックする
- 8 モデルの一覧から「NX PAD」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
- 9 「デバイスのインストールの確認」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 10 ファイルのコピーが終了したら、「マウスのプロパティ」画面で「閉じる」ボタンをクリックする
- 11 再起動に関するメッセージが表示されるので、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックしてWindows NTを再起動させる
再起動後にドライバが有効になります。

NXパッドの拡張機能の設定は、次の手順で行います。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリックし、コントロールパネルを開く
- 2 「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 3 必要に応じて設定を行う
設定方法については、オンラインヘルプをご覧ください。

 **チェック!!** 「ダブルクリック速度」のテストは「適用」ボタンをクリックした後で有効になります。

- 4 設定が終了したら、「マウスのプロパティ」ウィンドウで「OK」ボタンをクリックする
「マウスのプロパティ」ウィンドウが閉じて、設定が有効になります。

5. 内蔵FAXモデムのセットアップ

次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」をクリックしてコントロールパネルを開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする
- 2 「追加」ボタンをクリックする
- 3 「新しいポートの詳細設定」画面で各設定を選択する
「COMポートの番号」は必ず「2」を選択してください。「I/Oポートアドレス」、「割り込み番号(IRQ)」は他のデバイスと競合しない値を選択してください。
- 4 「OK」ボタンをクリックする
- 5 「システム設定の変更」画面で「再起動しない」をクリックする
- 6 「閉じる」ボタンをクリックする
- 7 「コントロールパネル」の「モデム」アイコンを開く
- 8 「新しいモデムのインストール」の画面で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「ディスク使用」をクリックする
- 10 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 11 「フロッピーディスクからインストール」画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする
A: ¥LTMODEM
- 12 「LT Win Modem」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- 13 どのポートにインストールするかを訊いてくるので、「選択したポート」をチェックする
- 14 「COM2」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 15 「所在地情報」を設定して、「次へ」ボタンをクリックする
- 16 以後は画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する

6. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ

BIOSセットアップユーティリティを利用するため、次の手順でセットアップします。

- 1 「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 2 「スタート」「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「ファイル名を指定して実行」画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする
A: ¥SETUP
- 4 インストール画面が表示されるので、「よろこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「ファイルコピーの開始」画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップ完了」画面で、「はい」ボタンをクリックする

以上でBIOSセットアップユーティリティのセットアップは完了です。



チェック!!

Windows NT 4.0用のBIOSセットアップユーティリティを起動するには、「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「BIOSセットアップユーティリティ」をクリックします。

7. Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3」の利用

Microsoft Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3」を適用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

1 Service Pack 3の「README.TXT」を読む

2 Service Pack 3のインストールを行う

☑チェック!! ファイルのコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。

3 コンピュータの再起動後、ドライバの再アップデートを行う
「1-4.ドライバをアップデートする」をご覧ください、アップデートしてください。

付録

このPARTの内容

Windows 95でMS-DOSモードを利用する
パソコンのお手入れ
コンピュータウイルス対策
機能一覧
割り込みレベル・DMAチャンネル
FAXの送受信テスト



Windows 95 で MS-DOS モードを利用する

Windows 95のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSモードを利用すると、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」をクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

- 1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する
EXIT【Enter】

Windows 95が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 95上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOSプロンプト」をクリックする
「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。なお、「MS-DOSモード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。

CD-ROMドライバ(本機内蔵CD-ROM)

本機は、工場出荷時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで本機内蔵のCD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在のMS-DOSモードで本機内蔵のCD-ROMドライブを使う場合

CD-ROMドライブ現在のMS-DOS設定を使う場合には、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」をクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
SETCD【Enter】
CD-ROMドライバの設定方法に関する説明が表示されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
EXIT【Enter】
Windows 95が再起動します。
- 5 手順3の画面に表示された指示に従って、CONFIG.SYSに次の内容のいずれかを追加し、接続されているCD-ROMドライブに対応したCD-ROMドライブを登録する
Windows 95がインストールされているドライブおよびディレクトリをC: ¥WINDOWSとします。

- ・追加する内容1

DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥NECCD.SYS/D:MSCD001

- ・追加する内容2

DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥NECCDDR.VSYS

DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥NECCD.SYS/D:MSCD001

6 DOSSTART.BATに次の内容を追加する

CD-ROMドライブをQドライブとします。

- ・追加する内容

DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥MSCDEX/D:MSCD001/
L:Q

7 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする

8 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする 本機を再起動します。

9 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする

10 「MS-DOSモードで再起動する」を選んで、「OK」ボタンをクリックする

MS-DOSモードが起動します。

ファイルを編集する

CONFIG.SYSやDOSSTART.BATは、メモ帳など、テキストデータを扱うことができるソフトウェアで編集します。ここでは、DOSSTART.BATファイルをメモ帳で編集する方法を、例をあげて説明します。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「メモ帳」で 「メモ帳」を開く

2 「ファイル」メニューの「開く」をクリックする

3 「ファイルの種類」を「すべてのファイル(*.*)」を選ぶ

4 「ファイルの場所」に「C: ¥WINDOWS」を選ぶ

- 5 「Dosstart.bat」をクリックして、「開く」をクリックする
DOSSTART.BATファイルが表示されます。
- 6 ファイルを編集する
- 7 ファイルの編集が終了したら、「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックする
変更を保存するかどうかを選択する画面が表示されます。
- 8 「はい」ボタンをクリックする
メモ帳が終了し、DOSSTART.BATの内容が変更されます。

新しいMS-DOS設定を指定する場合

新しいMS-DOS設定を指定する

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。


- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
SETCD【Enter】
CD-ROMドライブの設定方法に関する説明が表示されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
EXIT【Enter】
Windows 95が再起動します。
- 5 「スタート」ボタン 「プログラム」「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する
「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。

- 6 新しいMS-DOS設定を指定したいプログラムをクリックする
プログラム名が反転表示されます。
- 7 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックする
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 8 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」ウィンドウが表示されます。
- 9 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。
- 10 CONFIG.SYSのリストボックスに、手順3で画面に表示された指示に従って、次の内容のいずれかを追加する
Windows 95がインストールされているドライブおよびディレクトリをC: ¥WINDOWSとします。
 - ・追加する内容1
DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥NECCD.SYS/D: MSCD001
 - ・追加する内容2
DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥NECCDDR.V.SYS
DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥NECCD.SYS/D: MSCD001
- 11 AUTOEXEC.BATのリストボックスに、次の内容を追加する
CD-ROMを割り当てるドライブをQとします。
 - ・追加する内容
DEVICE=C: ¥WINDOWS ¥COMMAND ¥MSCDEX/D: MSCD001/L: Q
- 12 「OK」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」ウィンドウが閉じます。

- 13** 「OK」ボタンをクリックする
「プロパティ」ウィンドウが閉じます。
- 14** 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したプログラムをダブルクリックする
MS-DOSモードが起動します。

パソコンのお手入れ

ここでは、パソコンのお手入れの方法を紹介しています。

-  **チェック!!** 水や洗剤を使うときは、本体内部やNXパッド、キーボードに直接入らないように十分気を付けて掃除してください。

準備するもの

汚れが軽いとき


乾いたやわらかい素材のきれいな布

汚れがひどいとき

水か中性洗剤を含ませ堅くしぼったきれいな布

機器クリーニング用のフキンも汚れを拭き取るのに便利です。

機器クリーニング用のフキンについてはご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。

-  **チェック!!** シンナーや、ベンジンなどの揮発性の有機溶剤を含む化学ぞうきんは、つかわないでください。キーボードを傷めたり、本機の故障の原因になります。

フロッピーディスクドライブを掃除するとき

フロッピーディスクドライブを掃除するときは、クリーニングディスク 別売 を使います。

クリーニングディスクについては、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションに問い合せてください。

NECのお問い合わせ先:『NEC PCあんしんサポートガイド』

パソコンのお手入れをはじめる前に

△注意



感電注意

お手入れの前には、かならずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてください。

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電することがあります。

パソコンのお手入れ方法

パソコンのお手入れは、次のことに注意してください。

- **チェック!!** ・水や中性洗剤は、絶対に本機に直接かけないでください。本機の傷みや故障の原因になります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本機の傷みや故障の原因になります。

液晶ディスプレイ

乾いた柔らかいきれいな布で拭いてください。
水や中性洗剤は絶対に使用しないでください。故障の原因になります。シンナーやベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。液晶ディスプレイを傷付けたり、故障の原因になります。

本体

乾いた柔らかいきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、強くしぼったきれいな布で拭きます。

NXパッド

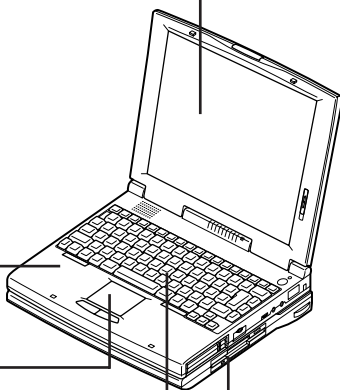
乾いた柔らかいきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水かうすめた中性洗剤を布に含ませ、強くしぼったきれいな布で拭きます。

キーボード

乾いた柔らかいきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、強くしぼったきれいな布で拭きます。
キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。
NECのお問い合わせ先:『NECあんしんサポートガイド』

電源コード

電源コードのプラグを長時間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまる場合があります。定期的にはこりを拭き取るようにしてください。



フロッピーディスクドライブ

クリーニングディスク(別売)を使ってフロッピーディスクドライブをクリーニングします。ひと月に一回を目安にクリーニングしてください。



コンピュータウイルス対策

ここでは、コンピュータウイルスとはどんなものか、また、ウイルスの予防法や検査するためのアプリケーションについて説明しています。

用語 コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとはプログラム的一种です。ユーザ(使用者)が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスが「ウイルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入りこんだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウイルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病と言います。

ウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

・ファイル感染型ウイルス

一般に、実行型ファイル(拡張子がEXEやCOM)に感染するタイプのウイルスです。ファイル感染型ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

・マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

・ブートセクタ型ウイルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)と言います。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウイルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・ フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・ 出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・ 入手したプログラムはウイルス検査をすませてから使用する。
- ・ パーソナルコンピュータのウイルス検査は定期的に行う。

本機には、ウイルスチェッカー「VirusScan」が用意されています。ウイルスチェッカーを定期的に利用して、ウイルスに感染していないかどうか、チェックされることをおすすめします。また、新種のウイルスに対応できるようウイルスチェッカーは定期的に最新のものに更新してください。

参照 VirusScanの起動 「VirusScan」(p.123)

万一、コンピュータウイルスに感染してしまった場合は、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

コンピュータウイルスを発見したら

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウイルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウイルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスクなど)をすべてウイルス検査する必要があります。

コンピュータウイルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウイルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称IPA)がウイルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウイルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先(IPA)については、「VirusScan」のヘルプをご覧ください。

機能一覧

本体機能仕様

CPU	MMX®テクノロジーPentium®プロセッサ クロック200MHz キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ256Kバイト	
メモリ	ROM (Flash Rom)	256Kバイト (BIOS)
	メインRAM	32Mバイト
		最大
	ビデオRAM	2Mバイト
表示機能	表示素子	バックライト付 12.1インチTFTカラー液晶ディスプレイ ¹
	ウィンドウアクセラレータ	Neo Magic社NM2160標準搭載 (ビデオアクセラレーション機能対応)
		1,024×768ドット(26万色中256色/65,536色)
		800×600ドット(26万色中256色/65,536色/1,677万色) 640×480ドット(16色/26万色中256色/65,536色/1,677万色) 640×400ドット(26万色中256色/65,536色/1,677万色)
別売のCRTディスプレイ接続時	1,024×768ドット(26万色中256色/65,536色) 800×600ドット(26万色中256色/65,536色/1,677万色) 640×480ドット(16色/26万色中256色/65,536色/1,677万色)	
サウンド機能	PCM録音・再生機能	内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)全二重対応(モノラル、量子化8ビット時)
	FM音源機能	内蔵(拡張FM音源[FM音源最大20音]装備)
	スピーカ・マイク	モノラルスピーカ・マイクロホン内蔵
	サラウンド	エンハンスド・ステレオ機能
通信機能	モデム	ボイス機能対応、ハンズフリー機能対応、 データ転送速度最大:56Kbps(K56flex) エラー訂正:V42bis/MNP4、データ圧縮:V42bis/MNP5
	FAX	データ転送速度最大:14.4Kbps(V17) FAX制御クラス1
入力装置	キーボード	JIS標準配列(英数、かな)本体との一体型 コントロールキー、12ファンクションキー、Windowsキー、アプリケーションキー、Num Lockキー、Fnキー(ホットキー対応)
	ポインティングデバイス	NXパッド標準装備

ハードディスク	内蔵(約2.1Gバイト)
インターフェイス	赤外線通信(IrDA規格準拠、データ転送速度最大4Mbps) ポートバー、USB、FAXモデム(専用コネクタ)
ポートバー接続時	マウス(ミニDIN6ピン)、パラレル(D-SUB25ピン)、シリアル(D-SUB9ピン、最高115.2Kbps対応)、テンキーボード(ミニDIN6ピン)、ディスプレイ(アナログRGBセパレート信号出力、ミニD-SUB15ピン)
サウンド関連	ヘッドホン出力(ステレオ、ミニジャック)、マイク入力(モノラル、ミニジャック)
PCカードスロット	TYPE ×2スロット(TYPE ×1スロットとして使用可) PC Card Standard準拠、CardBus / ZVポート対応(ZVポートは下側のスロットのみ)
パワーマネージメント	あり(自動または任意設定可能)
セキュリティ機能	あり(ユーザーパスワード機能、スーパーバイザーパスワード機能、I/Oロック機能、盗難防止用ロック(市販の盗難防止用ケーブルを使用))
バッテリー駆動時間 ⁴	約2.4~3.1時間
バッテリー充電時間 ⁴	電源ON時: 約4時間 電源OFF時: 約2時間
バッテリーによるサスペンド内容保持時間 ⁴ (フル充電時)	約5日
電源	リチウムイオンバッテリー(DC10.8V、2700mAh) ² またはAC 100V ±10%、50/60Hz (ACアダプタ経由 ³)
消費電力	約11W(内蔵オプション最大接続時: 約33W)
温湿度条件	10~35、20~80% (ただし結露しないこと)
外形寸法	297(W)×226(D)×29(H)mm (突起部含まず)
重量	約2.0kg (バッテリーパック内蔵時)

- 1 液晶ディスプレイは消耗部品です。
カラー液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。
また、輝度の調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはむらやちらつき、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。
- 2 バッテリーパックは消耗品です。
- 3 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V対応です。
- 4 本機のご利用状況やオプションの接続により異なる場合があります。
- 5 18 ~ 28、45% ~ 75%での使用を推奨。

ファイルベース機能仕様

補助記憶装置	フロッピーディスクドライブ	720K / 1.25M / 1.44Mバイトタイプの3モード対応3.5インチフロッピーディスクドライブ
	CD-ROMドライブ	最大20倍速(平均14倍速) データ転送速度は、CD-ROMの最内周で8.5倍速、最外周で20倍速となります。 CAV方式、データ転送速度最大3,000KB/S、CD-DA(オーディオCD)、CD-ROM MODE1/2、CD-ROM XA MODE2(FORM 1/2)、フォトCD(マルチセッション)対応
電源	本体より供給	
外形寸法	297(W)×226(D)×19(H)mm(突起部含まず)	
重量	約0.8kg	

内蔵FAXモデム機能仕様

機能概要

CPU I/F	PCIローカルバスインターフェイス(Ver2.1)16550A相当(I/Oアクセス、割り込み)
NCU部	<ul style="list-style-type: none"> ・回線接続切り替え機能 ・ダイヤルパルス送出機能 ・リング検出機能
モデムチップセット部	<ul style="list-style-type: none"> ・K56flex CPU直結パラレルアクセスによる高スループット K56flex V.34 V.32bis V.32、V.22bis、V.22、V.21 V.42LAPMおよびMNP2-4エラー訂正 V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・HayesATコマンドセット AT Sレジスタ ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・バッファリング ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイヤリング(DTMフトーン、ダイヤルパルス制御)

FAXモデム機能

交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM:14400/12000/9600/7200bps DPSK:4800/2400bps FSK:300bps
送信レベル	-6 ~ -15dBm(出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10 ~ -40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。

データモデム機能

適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送受信 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/ 14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps 受信 56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/ 40000/38000/36000/34000/32000 ¹
通信規格	K56flex ITU-TV.34/V.32bis/V.32/V.22bis/V.22/V.21
変調方式	TCM:56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/ 40000/38000/36000/34000/33600/31200/28800/26400/24000/ 21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps QAM:9600/7200bps DPSK:4800/2400/1200bps FSK:1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42 MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	- 6 ~ - 15dBm(出荷時 - 15dBm)
受信レベル	- 10 ~ - 40dBm
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 ²

1 回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。

2 ATコマンドについては、以下のファイルを参照してください。

C:¥Windows ¥ATCREAD.DOC

NCU機能

適用回線	加入電話回線
ダイヤル形式	パルスダイヤル(10/20PPS) トーンダイヤル(DTMF)
NCU形式	AA(自動発信/自動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンドAT(CLASS 1)

割り込みレベル・DMA チャンネル

割り込みレベル

IRQ	インターフェイス
0	システムタイマ
1	キーボードコントローラ
2	割り込みコントローラ
3	内蔵FAXモデム USBホストコントローラ
4	通信ポート
5	オーディオコントローラ
6	フロッピーディスクコントローラ
7	パラレルポート
8	システムクロック
9	(空 き)
10	(空 き)
11	CardBusコントローラ
12	NXパッド
13	数値データプロセッサ
14	IDEコントローラ(プライマリ)
15	IDEコントローラ(セカンダリ)

DMAチャンネル

DMA	インターフェイス
#0	赤外線通信
#1	サウンド
#2	フロッピーディスクコントローラ
#3	サウンド

赤外線通信機能を使用時



FAX の送受信テスト

ここでは、「NECパソコンFAXテスト送信サービス」を使ったFAXの送受信テストについて紹介しています。


「NECパソコンFAXテスト送信サービス」宛にFAXを送信し、うまく送信できたら、折り返し「NECパソコンFAXテスト送信サービス」よりFAXが届きます。なお、本テストを行う前に、TELFAX-NXより、電話が正しくかけられることを必ず確認してください。

本サービスは、本機のTELFAX-NXに対応しています。他のFAXアプリケーションからは利用できません。

テストの準備をする

「NECパソコンFAXテスト送信サービス」へ送信するFAX内容の作成と、り返されるFAXを受信するための準備をします。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「TELFAX-NX」の「TELFAX-NX(FAX&電話)」をクリックする
- 2 「設定」ボタンをクリックする
- 3 「電話のプロパティ」が表示されたら「ユーザ情報設定」タブをクリックする
- 4 送信するFAXの内容を入力する
「ユーザー名」:あなたの名前
「住所[1行目]」「住所[2行目]」:あなたの住所(省略できます)
「電話番号」:あなたの電話番号(FAXモデムの電話番号と同じ場合は省略できます)
「FAXモデムの電話番号」:本機を接続した電話回線の番号

 **チェック!!** 「FAXモデムの電話番号」は「NECパソコンFAXテスト送信サービス」より折り返しFAXするための情報なので、市外局番から数字ど - (ハイフン)で正確に入力してください。

5 「OK」ボタンをクリックする

6 「留守」ボタンをクリックする

テストを開始する

「NECパソコンFAXテスト送信サービス」宛にFAXを送信します。

1 「アドレス」ボタンをクリックする

2 アドレス帳の「NECパソコンFAXテスト送信サービス」を選択して、「ダイヤル」ボタンをクリックする

3 「FAX送信」が表示されたら「カバー」ボタンをクリックする

4 「選択」ボタンをクリックし、「ファイル名」から「faxtest.cov」を選択して「OK」ボタンをクリックする

5 「カバーページオプション」が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

6 「FAX送信」に戻ったら「発信」ボタンをクリックする

7 アドレス帳の左上の「×」をクリックし、「アドレス帳」を終了する

送信を確認する

正常に送信できたかどうかを確認します。

1 「送信」ボタンをクリックする


表示パネルの一番上の欄に送信結果が表示されます。「済み」と表示されている場合は、正常に受信されています。

2 表示パネルの「済み」の欄をダブルクリックする
「ビューア」が表示され、送信したFAXが表示されます。

3 右上の「×」をクリックし「ビューア」を終了する

返信のFAXを受信する

「NECパソコンFAXテスト送信サービス」宛にFAXが正常に送信できると、通常10分以内に折り返し「NECパソコンFAXテスト送信サービス」よりFAXが届き、自動受信されます。

-  **チェック!!** 折り返し時間は、その時の「NECパソコンFAXテスト送信サービス」の混み具合によって多少異なります。
- また、「NECパソコンFAXテスト送信サービス」では本機を接続した電話回線が使用中等でつながらない場合は、数分後にFAXを再送します(2回まで)。

受信を確認する

FAXの自動受信が完了すると、FAXを受信したというメッセージが表示されます。

- 1 「OK」ボタンをクリックする
- 2 「受信」ボタンをクリックする
表示パネルの一番上の欄に受信結果が表示されます。「未読」と表示されている場合は、正常に受信されています。
- 3 表示パネルの「未読」の欄をダブルクリックする
「ビューア」が表示され、自動受信したFAXが表示されます。

テストがうまくいかないとき

テストがうまくいかなかったときには、状況に応じて次の手順に従ってください。

送信が「異常」になった場合

- 1 表示パネルの「異常」をダブルクリックする
「詳細情報」が表示されます。
「通信状態」が「エラー」の場合、「最終エラー」にエラーメッセージが表示されています。
「エラーヘルプ」をクリックして、原因と対処方法を調べてください。

送信はうまくいったがFAXが届かない場合

送信が「済み」になってから10分程度たってもFAXが届かない場合は、「テストの準備をする」(p.176)を参照して次の項目を確認してから、もう一度テストをやり直してください。

- 1 「FAXモデムの電話番号」を間違えていないか確認する
- 2 「TELFAX-NX」が留守録モードになっているか確認する

受信が「異常」になった場合

- 1 表示パネルの「異常」をダブルクリックする
「詳細情報」が表示されます。
「通信状態」が「エラー」の場合、「最終エラー」にエラーメッセージが表示されています。
「エラーヘルプ」をクリックして、原因と対処方法を調べてください。



索引

索引

英字

ACアダプタ	5
AOL	118
BIGLOBE	114
BIGLOBE Walker	114
BIOSセットアップユーティリティ	90
CD-ROMアクセスランプ	4, 39
CD-ROMドライブ	4, 39
CRTディスプレイ	71
CyberTrio-NX	138
CyberWarner-NX	141
DCコネクタ	3
DMAチャンネル	175
FAX	128, 176
Fnキー	14, 24, 25
IDEデバイス	90
IntelliSync97	130
I/Oロック	49, 94
Microsoft Chat 2.0	112
Microsoft NetShow プレーヤー	112
MS-DOSモード	158
NIFTY MANAGER	120
NXパッド	2, 29
OS	138, 141
PCカード	75, 96
PCカードスロット	2, 75
PC-VAN	114, 116
RealPlayer 4.0	113
TELFAX-NX	128
USBコネクタ	3, 85
VirusScan	123
Windows NT 4.0	148

あ行

アプリケーション	102
インターネット	56, 107, 114, 118

インターネットエクスプローラ4.0	107
英語モード	145
液晶ディスプレイ	10, 14
オーディオCD	136
音量調節つまみ	2

か行

解像度	45, 72
カラオケCD	136
起動順位	99
輝度調節つまみ	2
キーボード	2, 23, 86, 96
クリック	29
コンピュータウイルス	123, 166

さ行

サウンド	55, 95
サスペンド	10
サスペンドランプ	10, 22
システムデバイス	96
省電力	20, 97
シリアルコネクタ	4, 85
シリアルポート	85, 94
スキャンディスク	43
スーパーバイザーパスワード	48, 92
スピーカ	2
スリープ	98
スリープボタン	2, 10, 14, 98
赤外線通信	52, 130
赤外線通信ポート	2, 53
セキュリティ	48, 92

た行

タップ	30
デバイス	94

デフラグ	44
テンキーボード用コネクタ	4, 86
電源スイッチ	3
電源ランプ	21
電子メール	114
電話回線	56
盗難防止用ロック	3
ドライバ	66
ドラッグ	30

な行

日本語入力システム	28
日本語モード	145
ネットワーク	70

は行

ハイバネーション機能	14
パスワード	48, 92
パソコン通信	116, 118, 120
バッテリー	5
バッテリースロット	3
バッテリーパック	8
バッテリー残量	7
バッテリー取り外しレバー	3, 9
バッテリー充電ランプ	21
ハードディスク	43
ハードディスクアクセスランプ	21
パラレルコネクタ	85, 95
パワーマネージメント	97
非常時CD-ROM取り出し穴	42
ビデオCD	136
表示色	45, 72
表示ランプ	2, 21
ファイルベース	4, 32
ファイルベース用コネクタ	3, 32
フォトCD	136

プラグ&プレイ機能	66
プリンタ	67
プレーヤ-NX	136
プロジェクタ	71
フロッピーディスクドライブ	4, 37
フロッピーディスクアクセスランプ	4, 21
ヘッドホン端子	2
ヘルプ	103
ポインタ	29
ポインティングデバイス	2, 29, 96
ホットキー機能	25
ポート	62
ポートバー	4, 62

ま行

マイクロホン	2, 85
マウス用コネクタ	4, 87
モジュラージャック	56
モデム	56

や行

ユーザーパスワード	48, 92
-----------	--------

ら行

レジューム	10, 98
-------	--------

わ行

割り込みレベル	175
---------	-----



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

808-851644-074-A

活用ガイド

PC98-**NX** SERIES

Aile **NX**
AL20C/TS

初版 1997年10月

NEC

P